

平成 23 年度 業務実績報告書

平成 24 年 6 月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（病院法人）

I 法人の概要

1 法人の現況

「地方独立行政法人岐阜県総合医療センター」は、岐阜県の政策医療を担う県全域の中核基幹病院として平成18年11月に新築オープン、平成22年4月地方独立行政法人化した。

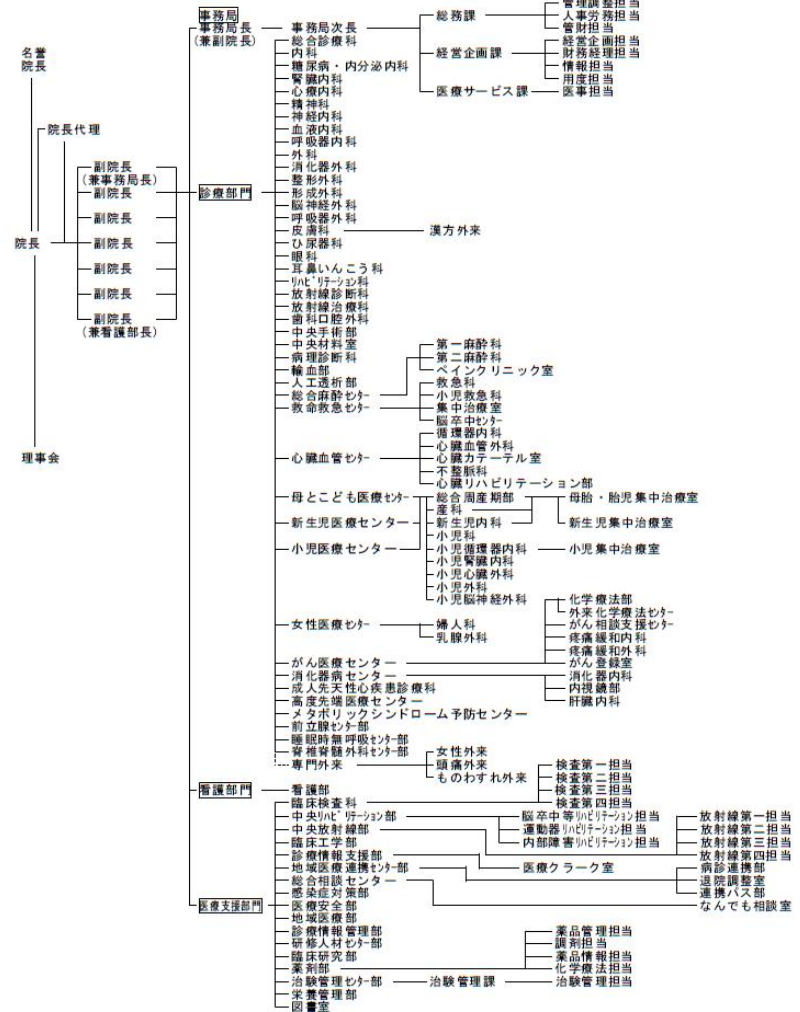
同医療センターの大きな特徴は、高度で先進的で最善の医療を、より効率的に提供するためにチーム医療を中核に据え、急性期を中心とした5つの重点医療（救命救急医療、心臓血管医療、周産期医療とこども医療、女性医療、がん医療）を定め、7つのセンター（救急救命、心臓・血液、母と子供の医療、小児、新生児、がん、女性）方式を確立している。

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

	氏名	役職
理事長	渡辺 佐知郎	センター院長
副理事長	富田 武司	センター副院長兼事務局長
理事	滝谷 博志	センター副院長
理事	山田 新尚	センター副院長
理事	直原 修一	センター副院長
理事	高木 久美子	センター副院長兼看護部長
理事	梅村 将夫	国立大学法人岐阜大学地域科学部客員教授
理事	山田 忠雄	(財)岐阜県老人クラブ連合会会長
監事	大久保 等	弁護士（大久保法律事務所）
監事	川村 一孝	公認会計士・税理士（川村会計事務所）

(5) 組織図

平成23年4月1日現在



(6) 職員数(平成23年4月1日現在)

1,059人(常勤855人、非常勤204人)

医師187人(常勤152人、非常勤35人)、看護師等590人(常勤521人、非常勤69人)、
コメディカル152人(常勤139人、非常勤13人)、事務等130人(常勤43人、非常勤87人)

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県総合医療センターにおいては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県総合医療センターとして、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(以下「法人」という。)の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野にいれて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県総合医療センター

(2) 所在地

岐阜県岐阜市野一色4-6-1

(3) 沿革

当院は明治42年岐阜衛戍病院として創設。岐阜陸軍病院、国立岐阜病院を経て昭和28年7月岐阜県に移譲され、病床数130床の岐阜県立岐阜病院として開院しました。

昭和28年 7月	岐阜県立岐阜病院として開院	病床数130床
昭和29年10月	総合病院の承認を受ける	病床数259床
昭和43年 2月	救急告示病院に指定	
昭和45年 6月	特殊放射線棟新築	
昭和47年 8月	東病棟新築	病床数370床
昭和49年 3月	厚生省臨床研修病院に指定	
昭和58年 9月	西病棟新築	病床数500床
昭和58年11月	救命救急センター開設	
昭和63年 3月	中央診療・新生児センター棟新築	病床数522床
平成 4年 2月	特殊放射線棟増築	
平成 4年 7月	病院医療総合情報システム導入	
平成 8年 8月	新生児センター3床増床	病床数525床
平成 8年12月	基幹災害医療センターに指定	
平成 9年 4月	院外処方箋実施	
平成 9年 7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更	病床数530床
平成11年 8月	クリニカルパス導入	
平成11年11月	25床増床	病床数555床
平成13年 6月	病診連携室(平成14年4月より病診連携部へ改組)設置	
	開放型病床(12床)開設(平成14年1月より27床)	
平成14年 3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得	
平成14年 4月	女性専用外来開設	
平成14年10月	医療安全部開設	
平成16年 4月	新医師臨床研修病院に指定	
平成16年 4月	乳腺外来の設置・臨床研修センター設置	
平成17年 1月	地域がん診療拠点病院に指定	

平成18年11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更。	病床数590床
	岐阜県立病院医療総合情報システム(電子カルテ)導入	
平成19年 8月	岐阜DMAT指定病院に指定 (DMAT:災害派遣医療チームの略)	
平成19年 9月	7対1看護体制を取得	
平成20年 2月	総合周産期母子医療センターに指定	
平成20年 9月	地域医療支援病院に指定	
平成21年 4月	DPC(入院包括診療報酬制度)対象病院に指定	
平成22年 1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成	
平成22年 4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行	
平成23年 4月	患者駐車場500台の整備	
平成24年 3月	DPC医療機関群II群の適用	

(4) その他

① 病床数 一般病床 590床

② 主な役割及び機能

- 高度で先進的な急性期医療センター機能
- 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設
- 災害時に県下を対象に指定された基幹災害医療センター及びDMAT指定病院
- 地域がん拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院

③ 重点医療

5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供

- 救命救急医療(救命救急センター) ○心臓血管疾患医療(心臓血管センター)
- 周産期医療(母とこども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター)
- がん医療(がん医療センター) ○女性医療(女性医療センター)

④ 診療科目(45)

総合診療科/内科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/不整脈科/腎臓内科/神経内科/消化器内科/肝臓内科/血液内科/呼吸器内科/小児科/小児循環器内科/小児腎臓内科/小児心臓外科/小児外科/小児脳神経外科/新生児内科/外科/消化器外科/整形外科/脳神経外科/心臓血管外科/呼吸器外科/産科/婦人科/乳腺外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/歯科口腔外科/心療内科/精神科/病理診断科/麻酔科/救急科/小児救急科/疼痛緩和内科/疼痛緩和外科/成人先天性心疾患診療科/臨床検査科

⑤ 専門外来(29)

膠原病・リウマチ内科外来/フットケア外来/糖尿病生活指導外来/肥満外来/メタボリック生活指導外来/禁煙外来/ペースメーカー外来/不整脈外来/腹膜透析外来/もの忘れ外来/小児アレルギー外来/小児脳波外来/小児腎・肝外来/小児神経・アレルギー外来/小児発達外来/脊椎外来/リウマチ外来/手の外科外来/女性外来/学童外来/漢方外来/顎関節外来/睡眠時無呼吸外来/不眠外来/頭痛外来/小児肝・内分泌外来/緩和ケア外来/心臓リハビリテーション外来/脚外来

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として急性期医療及び政策医療等の県民が必要とし信頼される医療を提供してきた。

より質の高い医療を提供するためには高度先進医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について基本的な計画を作成、院内委員会等で確認し、また当センターの診療方針・財務状況等経営的な視点も考慮しつつ新規の高度先進医療機器についても整備していくこととした。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務の改善や、独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行った。併せて女性職員の働きやすい職場づくりに向け「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」での活動や院内保育の充実など環境整備を実施した。

職員の質の向上については、岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし医療技術の向上に努めたほか、学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

患者・住民サービスについては、手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率が向上し、手術待ちの改善を図った結果、年間207件の手術件数(総数は5,614件)が増加した。また検査部門では検査技師の配置や予約枠の改善により待ち時間を短縮でき、患者サービスが向上した。

病院環境については、平成18年度完成の本館に続き、平成21年度には情報交流棟・管理棟が完成し、平成22年度は旧病棟等の解体と駐車場を主とする外構工事を実施し、平成23年5月から患者用駐車場500台を有料化することで、慢性的な駐車場不足を解消できた。

また、「総合相談センター」に医師及び看護師の他、コンシェルジュを設置し、患者からの各種相談を一体的に受け付け対応するなど、利便性の向上ができた。

「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交流を図るとともに、患者満足度調査を実施し病院運営に反映した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、救急外科、総合リハビリテーションセンター、外来部」等を増設し、45の診療科、29の専門外来により各種症例に的確に対応できる体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率61.8%、逆紹介率72.7%を達成した。周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医12名の協力を得て、小児救急医療拠点病院としては各務原市医師会7名と連携、また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加しその役割を果たした。

重点医療については、冒頭で記述したとおり、5つの重点医療を定め7つのセンターを中心として地域の基幹病院としての機能を果たした。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備するため「治験センター」を設置し、積極的な取り組みを行った結果、受託件数は計画24件に対し28件と大幅な増加を達成できた。

また診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを分析し、診療科毎での症例検討等に活用した結果、DPC参加病院として対前年DPC収益の110.5%増に結びついた。併せて診療材料についても、購入価格情報を収集し他医療機関のデータとの比較を行い価格交渉に活用した結果、コスト削減ができ効率的な経営に寄与することができた。

保健医療情報の提供については、県民を対象とした公開講座の開催やホームページコンテンツ(各センター、診療科別に症例数・治療内容・治療実績等)の充実、病院広報誌「けんこう」や病診連携部PR誌「すこやか」の発行に努めるなど広く情報発信を行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。

医師の卒後臨床研修等の充実について、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザインし充実した研修を推進したことで、後期研修医43名の確保につなげることができた。

また、医学生他、薬剤・看護・臨床検査・リハビリ等の学生の実習についても積極的に受け入れており、人材確保の場としても重要な機会であると位置づけ、多忙な業務と並行して取り組んだ。

併せて地域医療への協力・支援として、周辺市消防や自衛隊他の救命救急士養成実習に積極的な支援を行った。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行った。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県とのへき地医療支援機構運営委託契約による依頼をうけて、高山赤十字病院、県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院等への人的支援を実施した。

1-5 災害発生時における医療救護

当センターは県保健医療計画において、県下における「基幹災害医療センター」として指定されており、その機能を発揮するためのトリアージ訓練・応急処置訓練・避難訓練・ヘリコプターによる重症患者受け入れの他、岐阜赤十字病院、羽島市医師会、羽島市民病院と連携した広域搬送訓練を実施した。災害派遣医療チーム（DMAT）の育成について国主催の研修に派遣するなど目標である5班体制に対し平成22年度に引き続き2班体制を確保した。

また、他県の大規模災害への取組については、平成23年3月1日に発生した東日本大震災への医療救護に対し、平成22年度に1班及び医療救護班1班の派遣に引き続き、医療救護班4班20名を（最終班は5月）を継続して派遣し、被災地での医療救護活動に努めた。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

理事長の強力なリーダーシップの下、地方独立行政法人化を契機に医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的で迅速な診療体制の見直しを進めるとともに、機動的、効率的な病院運営を図るため、役員会議、幹部会議、管理会議等を通じて迅速に課題に取り組み解決してきた。

管理部門に経営企画課を設置し、経営状況の分析、経営課題への取り組み方針等を検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み、集計の増加やコスト削減を進めた。

また、人事労務担当を独立設置し、病院機能の高度化・充実に要する職員の効果的な採用を行った。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

業務運営の見直しについて、医療機器・医療材料等の効率的な調達を目的として検討委員会を設置し、診療材料の採用、医療機器の購入、薬剤の購入方法について、岐阜県総合医療センターの医療方針に従って、コスト削減努力を強化することを意思決定し、効果的で効率的な医療機器等の調達を実施した。

収入の確保については、平成22年度診療報酬改定におけるプラス改定をベースに、「断らない医療」、「高度・先進医療の推進、充実」、「院内外の快適・安心・安全な環境の整備」に取り組んだ結果、県民からの信頼を得られ、外来患者数は、対前年103.9%、入院患者数は100.9%と増加し、また、外来診療単価は99.3%と減少したものの、入院診療単価では106.9%と連続して増加しており、高度先進医療への移行が確実に進行していることがうかがえる。また年間診療額では、外来で103.2%、入院では107.9%の高い伸びを達成できた。特に入院診療額の伸びは、入院病棟における89.5%（対前年100.7%）の高い病床稼働率や手術件数の増が要因のひとつであった。

○収入関係数値

			H23年度	H23/H22 (%)	H22年度	H22/H21 (%)	H21年度
外来	外来患者数	人	285,186	103.9	274,440	104.9	261,566
	1日平均患者数	人/日	1,169	103.5	1,129	104.4	1,081
	年間診療額	千円	4,091,729	103.2	3,965,117	111.1	3,568,030
	1日平均診療単価	円/日	14,348	99.3	14,448	105.9	13,641
入院	入院患者数	人	193,205	100.9	191,389	103.8	184,440
	1日平均患者数	人/日	528	100.8	524	103.8	505
	年間診療額	千円	12,508,247	107.9	11,589,615	109.2	10,610,043
	1日平均診療単価	円/日	64,741	106.9	60,555	105.3	57,526
	平均在院日数	日	13.4	101.5	13.2	103.1	12.8
	病床稼働率	%	89.5	100.7	88.9	103.9	85.6

一方、従前からの課題であった未収金への対応については、その発生防止対策として、クレジットカード決済の導入や入院説明室を設置し医療相談員から入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施し成果を出した。また発生後の未回収困難な収金対策として弁護士法人に委託し徐々にではあるが成果が出てきた。

費用の削減については、DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科へデータ等をフィードバックするなど病院全体でコスト削減に対する意識を醸成し取り組んだ。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）

3-1 予算・決算（平成23年度）

収入は、営業収益における医業収益の伸び（約11億円）と資本収入における運営費負担金の大幅な減額（約10億円）により年度計画に対し約3億4千万円の増額となっており、一方、支出についてはやや計画以上の執行（約2億3千万円）となり、約15億円の支出超過であった。

3-2 収支計画（平成23年度）

収支計画において、医業収益は約169億円で年度計画の約158億円に対して107.0%の伸びを達成した。

また、経営目標とする各経営比率は対年度計画については全て達成できた。

中期計画については、経常収支比率（経常収益／経常費用）は大きく向上したものの、未達成であり継続的に努力する必要があるが、人件費比率（給与／医業収益）及び材料費率（材料費／医業収益）は目標数値を達成できた。

○経営指標比較

	H22実績	H23実績	H23計画	中期計画
経常収支比率	97.2%	98.8%	94.0%	100.0%
人件費比率	47.4%	47.2%	50.7%	50.0%
材料費率	29.2%	29.0%	27.8%	30.0%

3-3 資金計画（平成23年度）

業務活動における収入については、約182億4千万円と年度計画（約171億円）と比較し、医業収益の伸びを受けて、約11億5千万円の増と計画を大きく上回った。投資活動による支出では、有形固定資産の取得による支出が当初計画に比較し約3億7千万円増加した。一方、財務活動による収入として年度計画では予定されていなかった運営費負担金約10億4千万円を収入した。投資活動による収入として年度計画に比較し20億3千万円減少した（平成22年度末に収入済み）。この結果、次年度繰越額が約17億8千万円減の約105億9千万円となった。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、効果的な病院運営のため医師、看護師等各職種がその業務に専念でき、併せて時間外勤務を縮減するため、医療クラーク・看護クラーク等業務補助体制を強化するとともにMSW等の専門職を雇用し、病院職員の勤務環境を改善するとともに、年次有給等休暇の取得を促進し、家庭環境に配慮した取組ができた。

健康管理については、独立行政法人化前の同水準以上の定期健康診断や人間ドック等の検診を実施するとともに産業医設置による健康相談等の健康管理対策を実施した。

また職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の24時間保育を実施した。
職員が業務に対する高い意欲を持ち、能力を十分に発揮できる病院づくりのため学会や研修会等への参加について積極的に支援した。
県及び他の地方独立行政法人との連携については、医療従事者の人事交流を行うなど連携を推進した。
医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展等を総合的に判断し、内視鏡手術支援ロボットやハイブリッド手術室の整備・導入の可否を検討している。
法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。
その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 ・職員の柔軟な勤務時間体制の検討 ・7：1看護体制の維持 ・医療クランク等の配置拡充 ・代休取得、週休日振替の徹底 ・院内保育所の24時間保育の実施 ・職員の悩み等相談体制の整備 ・患者相談体制の整備 ・院内暴力に対する警備の強化	02	Ⅲ	
			(3) 優れた医師をはじめとした職員の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅳ	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅳ	
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	
			(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08	Ⅲ	
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・業務のスピード化、診療時間の弾力化等 ・検査の効率的な実施、検査機器稼働率向上 ・手術の実施体制の再整備	09	Ⅳ		
		(2) 院内環境の快適性向上 ・プライバシーに配慮した院内環境の整備 ・栄養管理の充実、病院給食の改善	10	Ⅲ		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ		
		(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供	12	Ⅳ		
		(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	13	Ⅲ		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ		

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
			(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設	15	Ⅳ			
			1-1-3 診療体制の充実	(1) 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	16	Ⅳ		
				(2) 多様な専門職の積極的な活用	17	Ⅲ		
			1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	18	Ⅳ		
				(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	19	Ⅲ		
				(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	20	Ⅲ		
			1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急センター(救命救急医療)	21	Ⅲ		
				(2) 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)	22	Ⅲ		
				(3) 母と子ども医療センター(周産期医療と子ども医療)	23	Ⅲ		
				(4) がん医療センター(がん医療)	24	Ⅲ		
				(5) 女性医療センター	25	Ⅲ		
			1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験受託件数の増加・治験センター認定	26	Ⅳ	
					(2) 臨床研究部(仮称)の創設	27	Ⅲ	
				1-2-2 診療情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	28	Ⅲ	
	(2) 集積したエビデンスの活用	29			Ⅲ			
	1-2-3 保健医療情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	30	Ⅲ				
		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	31	Ⅲ				
	1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	32	Ⅲ			
			(2) 後期研修医(レジデント)に対する研修等	33	Ⅲ			
1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	34	Ⅲ					
	(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	35	Ⅲ					
1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	36	Ⅲ				
		(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	37	Ⅲ				
		(3) へき地医療対策の支援	38	Ⅳ				
	1-4-2 社会的な要請への協力	39	Ⅲ					

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標 を達成するための取組	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施	40	III
			(2) 基幹災害医療センター機能強化	41	III
		1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	42	IV
			(2) 訓練・研修への派遣	43	III
	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	44	III
			(2) 各種業務のIT化の推進	45	III
			(3) アウトソーシング導入による合理化	46	III
			(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	47	III
		2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用	(1) 弾力的運用の実施	48	III
			(2) 効果的な体制による医療の提供	49	IV
(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置			50	III	
2-1-3 人事評価システムの構築		51	III		
2-1-4 事務部門の専門性の向上	52	III			
2-2 業務運営の見直しや効	2-2-1 多様な契約手法の導入		53	IV	
		2-2-2 収入の確保	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用	54	III
(2) 未収金の発生防止対策等	55		IV		

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
8 その他県の規則で定める業務運営に関する事項	率化による収支改善	(3) 退院時の開業医への紹介率の向上	56	IV		
		2-2-3 費用の削減	57	III		
	3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画		58	III	
	4	短期借入金の限度額		—	—	—
	5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		—	—	—
	6	剰余金の使途		—	—	—
	7	料金に関する事項		—	—	—
	8-1 職員の就労環境の向上	(1) 最適な勤務環境創出	(2) 柔軟な勤務形態採用、時間外勤務縮減、休暇取得促進、特別休暇制度新設等	59	III	
			(3) 健康管理対策の充実	60	III	
			(4) 福利厚生施設等の充実	61	III	
(5) 学会等参加支援、研修・講習会充実			62	III		
(4) 福利厚生施設等の充実			63	III		
8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		64	III			
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	65	III				
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	66	IV				

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標
 診療事業
 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。
 より質の高い医療の提供
 法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。
 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。
 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。
 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
01	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に適切に対応するとともに、病院の医療機能の維持・向上を図るため、高速X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進める。</p>	III				<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 高速X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を進めるため、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成22年度策定)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成23年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器(本体価格3,000万円以上)の更新・整備をした。この計画に基づき更新・整備を行った。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案し、特に中長期計画などと整合を図りながら整備することとした。</p> <p>代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機名</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I装置のアップグレード</td> <td>10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした</td> </tr> <tr> <td>デジタル乳房用X線撮影装置</td> <td>早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>心臓診断に使用できる高性能な機器の更新</td> </tr> </tbody> </table>	機名	整備目的・用途等	MR I装置のアップグレード	10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした	デジタル乳房用X線撮影装置	早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入	超音波診断装置	心臓診断に使用できる高性能な機器の更新	III		
機名	整備目的・用途等																	
MR I装置のアップグレード	10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした																	
デジタル乳房用X線撮影装置	早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入																	
超音波診断装置	心臓診断に使用できる高性能な機器の更新																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																											
							<p>新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年 度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アプレーションシステム</td> <td>H22.11</td> <td>15件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H23.3</td> <td>0件</td> <td>1,208件</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H23.3</td> <td>0件</td> <td>1,665件</td> </tr> <tr> <td>MR I装置のアップグレード</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>*平成22・23年度に更新整備した主な機器が対象</p> <p>主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>793</td> <td>904</td> <td>998</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>96</td> <td>104</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR(2 台)</td> <td>外来</td> <td>6,973</td> <td>7,412</td> <td>7,994</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,440</td> <td>1,663</td> <td>1,694</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT(2 台)</td> <td>外来</td> <td>19,236</td> <td>21,798</td> <td>22,636</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>4,856</td> <td>5,514</td> <td>5,841</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備年 度	H22	H23	3次元マッピングシステム・アプレーションシステム	H22.11	15件	17件	ガンマカメラ装置	H23.3	0件	1,208件	X線TV装置	H23.3	0件	1,665件	MR I装置のアップグレード	H24.3	—	0件	デジタル式乳房用X線撮影装置	H24.3	—	0件	超音波診断装置	H24.3	—	0件	項目・年度		H21	H22	H23	PET (1台)	外来	793	904	998	入院	96	104	73	MR(2 台)	外来	6,973	7,412	7,994	入院	1,440	1,663	1,694	CT(2 台)	外来	19,236	21,798	22,636	入院	4,856	5,514	5,841		
機器名	整備年 度	H22	H23																																																																		
3次元マッピングシステム・アプレーションシステム	H22.11	15件	17件																																																																		
ガンマカメラ装置	H23.3	0件	1,208件																																																																		
X線TV装置	H23.3	0件	1,665件																																																																		
MR I装置のアップグレード	H24.3	—	0件																																																																		
デジタル式乳房用X線撮影装置	H24.3	—	0件																																																																		
超音波診断装置	H24.3	—	0件																																																																		
項目・年度		H21	H22	H23																																																																	
PET (1台)	外来	793	904	998																																																																	
	入院	96	104	73																																																																	
MR(2 台)	外来	6,973	7,412	7,994																																																																	
	入院	1,440	1,663	1,694																																																																	
CT(2 台)	外来	19,236	21,798	22,636																																																																	
	入院	4,856	5,514	5,841																																																																	
02	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 病院が求められる機能を果たし、県民が必要とする医療をより良くかつ機能的に提供するとともに、職員の最適な勤務環境を創出するため、次の取り組みに努め、医師・看護師等職員の確保と定着化を促進する。</p> <p>・必要な医療従事者等の確保のための柔軟な職員採用、再雇用制度の構築</p>	III			<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を適正に運用する。</p>	<p>・年度当初看護師の定数562人に対して現員数は521人であり、長時間勤務やローテーション維持並びに年休の消化などに支障があり、この状態の改善に取り組んだ。</p> <p>・採用試験を4回実施するとともに、看護学校や各種ガイダンス等への参加、新聞の掲載等雇用確保のため積極的に働きかけを行った。</p>	III																																																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
	・女性医師をはじめとした職員の柔軟な勤務時間体制の検討（例：15時終了制の導入）					<p>・平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果の意見を踏まえ、女性職員が働きやすい職場づくりに向けて、労務環境の改善について検討する。</p>	<p>・平成22年度に実施したアンケートの結果、病児保育等の要望が多く、平成27年度開設予定の新病棟内に設置予定ではあるが、女性職員が働きやすい職場づくりのため、試行という形でも平成24年度中の開始に向けて具体的に検討することとした。</p> <p>・委員会設置と開催実績等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23/5</td> <td>第1回委員会開催（主な議題：子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について）</td> </tr> <tr> <td>23/9</td> <td>第2回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）</td> </tr> <tr> <td>23/11</td> <td>第3回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）</td> </tr> <tr> <td>24/3</td> <td>第4回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について）</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	23/5	第1回委員会開催（主な議題：子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について）	23/9	第2回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）	23/11	第3回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）	24/3	第4回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について）			
時期	内容																			
23/5	第1回委員会開催（主な議題：子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について）																			
23/9	第2回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）																			
23/11	第3回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、ワークシェアリングについて）																			
24/3	第4回委員会開催（主な議題：病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について）																			
	・7：1看護体制（看護職員の二交代制）の維持					・7：1看護体制（看護職員の二交代制）を維持する。	・看護師人数（503→521人）の増員などで、7：1看護体制を3.6%上回る体制を維持できた。													
	・医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等の拡充					<p>・医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等を配置拡充する。</p> <p>[医療クラーク：20人（平成22年度）→26人、病棟等看護クラーク：17人（平成22年度）→20人]</p>	<p>・医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等を配置拡充した。</p> <p>・医師補助・看護補助体制の拡充状況</p> <p>[医療クラーク：38人、病棟等看護クラーク：26人（平成23年度末）]</p>													
	・代休取得、週休日の振替の徹底					・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。	<p>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。</p> <p>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</p> <p>・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休</p>													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						日の振替指導を徹底した。 ・代休等取得状況 (件数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">代休取得</td> <td>1日代休</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>半日代休</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">週休日の 振り替え</td> <td>1日振休</td> <td>223</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>半日振休</td> <td>234</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		H22	H23	代休取得	1日代休	15	12	半日代休	3	5	週休日の 振り替え	1日振休	223	528	半日振休	234	163			
区 分		H22	H23																								
代休取得	1日代休	15	12																								
	半日代休	3	5																								
週休日の 振り替え	1日振休	223	528																								
	半日振休	234	163																								
	・24時間保育の実施				・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の実施に向け時間延長等を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。	・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を実施している。平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始した。 ・通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30) ・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 19人 最大預かり児童数 44人 月平均29.8人 院内保育所の運営状況 (各年3.31時点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>		H 2 2	H 2 3	入所者数	36人	44人	保育士数	8人	8人												
	H 2 2	H 2 3																									
入所者数	36人	44人																									
保育士数	8人	8人																									
	・職員の悩みなどの相談体制の整備				・ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。	・ハラスメント防止に関する外部機関作成のパンフレットを配布し、周知を図った。																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
	<ul style="list-style-type: none"> 患者相談体制の整備 					<ul style="list-style-type: none"> 総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化した。 総合受付にコンシェルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備した。 患者や家族から各種相談を受け付けた（相談内容：がん相談（一般、セカンドオピニオン、退院調整）、がん以外（なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整）。 <p>平成23年度実績件数</p> <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>1,158</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>6,025</td> </tr> <tr> <td>なんでも相談 (意見・苦情)</td> <td>192 64</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>5,818</td> </tr> <tr> <td>医療サービス課</td> <td>5,638</td> </tr> </table> <p>※（ ）の数値は、なんでも相談の内数。</p>	がん相談	1,158	がん相談支援	246	セカンドオピニオン	47	退院調整室	865	がん以外の相談	6,025	なんでも相談 (意見・苦情)	192 64	セカンドオピニオン	15	退院調整室	5,818	医療サービス課	5,638		
がん相談	1,158																									
がん相談支援	246																									
セカンドオピニオン	47																									
退院調整室	865																									
がん以外の相談	6,025																									
なんでも相談 (意見・苦情)	192 64																									
セカンドオピニオン	15																									
退院調整室	5,818																									
医療サービス課	5,638																									
	<ul style="list-style-type: none"> 院内暴力に対する警備の強化 				<ul style="list-style-type: none"> 「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する警備強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年10月に、個人情報保護と併せて院内研修会を実施した。 テーマ：「院内暴力の実態と対応方法」 開催日：平成23年10月3日（月） 講師：NKS Jリスクマネジメント（株） 上席コンサルタント 寺田暁史 																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
03	<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学等関係機関との連携の強化や、国内先進病院への医師の研修派遣により、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	III				<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	<p>・平成23年度医師の研修派遣者数実績3名 米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） 静岡県（静岡県立こども病院） 神奈川県（横浜労災病院）</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・医学経営革新のための訪米研修 ・第14回世界肺癌学会 ・ACC米国学会 ・欧州核医学会議 ・米国心臓協会学術集会 ・アジア心臓血管外科学会 ・カテーテルアブレーション・ライブ・セミナー 他 </div>	III													
							<p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	派遣	1人	3人	受入	6人	8人				
	H22	H23																			
派遣	1人	3人																			
受入	6人	8人																			
04	<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、専門性の高い資格取得に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。</p>	III				<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</p> <p>・専門看護師数 小児看護専門看護師 H22:0→H23:1名 がん看護専門看護師 H22:0→H23:1名</p> <p>・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師 1名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 H22:1名→H23:2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排せケア認定看護師 3名</p>	IV													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																															
						新生児集中ケア認定看護師 H22:0→H23:1 名 (平成23年度認定登録: 2名)																																																			
						・研修実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 看護師</td> <td> [長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 名 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 名 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 名 ・医療安全研修 H22:2→H23:5 名 </td> </tr> <tr> <td>学 会 等 参 加</td> <td> ・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98 名 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容	認定 看護師	[長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 名 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 名 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 名 ・医療安全研修 H22:2→H23:5 名	学 会 等 参 加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98 名																																													
項目	内 容																																																								
認定 看護師	[長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 名 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 名 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 名 ・医療安全研修 H22:2→H23:5 名																																																								
学 会 等 参 加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98 名																																																								
						認定看護師・専門看護師数 (各年度末時点) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H 2 2</th> <th colspan="2">H 2 3</th> </tr> <tr> <th>分野</th> <th>人数</th> <th>分野</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1</td> <td>感染管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>救急看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>小児救急</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		H 2 2		H 2 3		分野	人数	分野	人数	認定	がん化学療法	1	がん化学療法	1	がん性疼痛	1	がん性疼痛	1	感染管理	1	感染管理	2	救急看護	1	救急看護	1	小児救急	1	小児救急	1	摂食・嚥下障害	1	摂食・嚥下障害	1	皮膚・排泄ケア	3	皮膚・排泄ケア	3				新生児集中ケア	1	計		9		11			
	H 2 2		H 2 3																																																						
	分野	人数	分野	人数																																																					
認定	がん化学療法	1	がん化学療法	1																																																					
	がん性疼痛	1	がん性疼痛	1																																																					
	感染管理	1	感染管理	2																																																					
	救急看護	1	救急看護	1																																																					
	小児救急	1	小児救急	1																																																					
	摂食・嚥下障害	1	摂食・嚥下障害	1																																																					
	皮膚・排泄ケア	3	皮膚・排泄ケア	3																																																					
			新生児集中ケア	1																																																					
計		9		11																																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
								<table border="1"> <tr> <td>専門</td> <td></td> <td>小児看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>がん看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td></td> <td>13</td> </tr> </table>	専門		小児看護	1			がん看護	1	計	0		2	合計	9		13			
専門		小児看護	1																								
		がん看護	1																								
計	0		2																								
合計	9		13																								
05	<p>・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。</p>	III			<p>・コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>【臨床検査科】</td> <td></td> </tr> </table>	【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。	【臨床検査科】		<p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <table border="1"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ技術講習会 CTビギナーズセミナー 日本定位放射線治療学会 日本放射線腫瘍学会 日本核医学会 </td> </tr> <tr> <td>【臨床検査科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床細胞学会 日本輸血・細胞治療学会 臨床ゲノム医療学会 中部地区生理検査研修会 日本心エコー図学会 </td> </tr> <tr> <td>【薬剤師】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 </td> </tr> <tr> <td>【リハビリテーション科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 </td> </tr> </table>	【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ技術講習会 CTビギナーズセミナー 日本定位放射線治療学会 日本放射線腫瘍学会 日本核医学会 	【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> 日本臨床細胞学会 日本輸血・細胞治療学会 臨床ゲノム医療学会 中部地区生理検査研修会 日本心エコー図学会 	【薬剤師】	<ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 	【リハビリテーション科】	<ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 	IV								
【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。																										
【臨床検査科】																											
【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ技術講習会 CTビギナーズセミナー 日本定位放射線治療学会 日本放射線腫瘍学会 日本核医学会 																										
【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> 日本臨床細胞学会 日本輸血・細胞治療学会 臨床ゲノム医療学会 中部地区生理検査研修会 日本心エコー図学会 																										
【薬剤師】	<ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 																										
【リハビリテーション科】	<ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
						<p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・日本摂食嚥下リハビリテーション指導士 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 ・認定理学療法士や専門理学療法士等の資格取得の促進 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・全国自治体病院協議会栄養部会研修会 																										
						<p>コメディカル専門研修の参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78人</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>24人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74人</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>224人</td> <td>343人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	薬剤師	78人	106人	検査技師	24人	80人	臨床工学技士	16人	7人	リハビリ技師	74人	112人	管理栄養士	6人	15人	放射線技師	26人	23人	合計	224人	343人			
	H22	H23																															
薬剤師	78人	106人																															
検査技師	24人	80人																															
臨床工学技士	16人	7人																															
リハビリ技師	74人	112人																															
管理栄養士	6人	15人																															
放射線技師	26人	23人																															
合計	224人	343人																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
06	<p>・ EBMの推進 先端医学など新しい医療の研究・研修を行い、E BM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。 そのためには、各種診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパスを作成し、積極的に活用するとともに、バリエーション分析を行いクリニカルパスを必要に応じ改訂し、作成されたクリニカルパスを検証することにより最適化されたクリニカルパスの推進に取り組み、医療の質の改善、向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。</p>	III				<p>・ EBMの推進 各種診療ガイドライン等に基づいて作成したクリニカルパスに対して、他病院とのベンチマークを行い、DPCに対応したクリニカルパスに改定する。また、病棟訪問により意見交換を行うなど作成されたクリニカルパスを検証することによりクリニカルパスの最適化、医療の質の改善・向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。</p>	<p>・ クリニカルパスの見直し・改定を実施した。 平成24年1月にクリニカルパス学習会を開催し、その後クリニカルパスを整理し、DPCに対応したクリニカルパスを検証・整理した。 ・ 診療科別クリニカルパス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>クリニカルパス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>304件</td> <td>303件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>13,899人</td> <td>13,798人</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>8,337件</td> <td>8,363件</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60.0%</td> <td>60.6%</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	クリニカルパス数	外科	36	小児科	46	産婦人科	34	整形外科	33	眼科	32	その他	123		H22	H23	種類数	304件	303件	入院患者数	13,899人	13,798人	使用数	8,337件	8,363件	適用率	60.0%	60.6%	III		
診療科	クリニカルパス数																																						
外科	36																																						
小児科	46																																						
産婦人科	34																																						
整形外科	33																																						
眼科	32																																						
その他	123																																						
	H22	H23																																					
種類数	304件	303件																																					
入院患者数	13,899人	13,798人																																					
使用数	8,337件	8,363件																																					
適用率	60.0%	60.6%																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
07	<p>・医療安全対策の充実</p> <p>医療安全管理委員会や医療安全部において、インシデント・アクシデント報告の収集・分析に努め、医療安全対策の充実を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	III				<p>・医療安全対策の充実</p> <p>平成22年度に改定した医療安全管理マニュアルを必要に応じ見直し、部署別医療事故防止対策の徹底を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	<p>・医療安全管理マニュアルの総見直しを行い新しく「医療安全管理マニュアル」を全部署に配備した。</p> <p>・「医療安全マニュアル」ポケット版を作成し全職員に配付し携帯出来るようにした。</p> <p>・「医療安全マニュアル」委託職員用を作成し委託職員に配付し指導した。</p> <p>・医療安全意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を16回実施した。</p> <p>総参加者数は1,158名であった。</p> <p>・月次でインシデント・アクシデントの統計を取り、看護師長会や管理会議へ報告し、注意喚起した。</p> <p>・インシデント（レベル3aまで）、アクシデント（レベル3b～）の発生状況</p> <p>平成23年度よりレベル3はa, bに分割して記載</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>327件</td> <td>286件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,003件</td> <td>1,013件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>713件</td> <td>849件</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td rowspan="2">152件</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td>レベル3b</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>—</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,043件</td> <td>2,326件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>153件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,196件</td> <td>2,384件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	レベル0	327件	286件	レベル1	1,003件	1,013件	レベル2	713件	849件	レベル3a	152件	178件	レベル3b	54件	レベル4	1件	2件	レベル5	—	2件		H22	H23	インシデント	2,043件	2,326件	アクシデント	153件	58件	合計	2,196件	2,384件	III		
	H22	H23																																											
レベル0	327件	286件																																											
レベル1	1,003件	1,013件																																											
レベル2	713件	849件																																											
レベル3a	152件	178件																																											
レベル3b		54件																																											
レベル4	1件	2件																																											
レベル5	—	2件																																											
	H22	H23																																											
インシデント	2,043件	2,326件																																											
アクシデント	153件	58件																																											
合計	2,196件	2,384件																																											
08	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染防止委員会や感染症対策部において、感染防止訓練や研修会の実施、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図る。また、ICD（感染症対策専門医）及びICN（感染管理看護師）の資格を持った医療技術者を充実させることにより、院内感染</p>	III			<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>院内感染対策マニュアルを基に各部署等における予防対策や日々の感染防止策の遵守状況を定期的に観察・指導（院内巡視）するとともに感染防止委員会や感染症対策部を中心に感染防止訓練及び研修会（年2回以上）を行い、院内感染対策マニ</p>	<p>・9月より感染防止委員会の実働部隊としてICT（Infection control team）を結成し、マニュアルに沿った感染防止対策を推進するため、毎月1～4回ICTにて各部署の巡視を行い、指導・教育を行った。</p> <p>・感染防止委員会を毎月第3木曜日に開催し、感染</p>	III																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	防止体制を整備する。					アルの周知徹底・啓発を図ること及び必要に応じ改定（ローリング）を行う。	症情報、抗菌薬使用状況、標準予防策の遵守状況について報告を行うとともにインフルエンザ対策、結核接触者健診など適時な議題についても報告を行った。 ・ICTが中心になり感染対策マニュアルを見直し、マニュアルの全改訂を行い感染防止委員会の承認を得たのち、院内の各部署へ配布した。 ・感染防止研修会の開催 全職員を対象とした研修を年4回開催したほか、ICTによる出張学習会、看護師を対象とした学習会などを実施。延べ2,492名が参加した。			

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期 目標	来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
09	・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化とともに、他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の短縮を図る。	IV				・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。	○外来待ち時間対策 ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 ① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④ 病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						<p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>27.47 分</td> <td>22.73 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけよう便宜を図っている。 ② 診療科に即したパンフレットや図書を配置 待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（10/6）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30 分</th> <th>30～2 時間</th> <th>2 時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23. 8 月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24. 1 月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※23 年度中における待ち時間の解消 30 分以内：+ 1 1. 8 ポイントの改善 30 分～2 時間：- 1 2 ポイントの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算支払い窓口の増設 診療費の支払い待ち時間の短縮のため、支払窓口を増設した。（2 窓口→3 窓口） 		H 2 2	H 2 3	平均待ち時間	27.47 分	22.73 分	待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～	H23. 8 月	40.1%	54.8%	5.3%	H24. 1 月	51.9%	42.8%	5.3%			
	H 2 2	H 2 3																									
平均待ち時間	27.47 分	22.73 分																									
待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～																								
H23. 8 月	40.1%	54.8%	5.3%																								
H24. 1 月	51.9%	42.8%	5.3%																								
	<ul style="list-style-type: none"> 検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ちの改善を図る。 				<ul style="list-style-type: none"> 検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床検査部門 ・技師の増員配置 H22：5.5 名 → H23：6.5 名 ・検査予約枠の変更 乳腺エコーを始め、各検査予約枠の増設を行い、稼働率の向上を図ることとした。 ・稼働率向上による超音波検査件数の増 H22：11,091 件 → H23：13,287 件（19.8%増） 																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																		
						<p>・超音波検査待ち時間の短縮</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分 未満</th> <th>～90 分</th> <th>90分 超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・採血室：採血開始時間を業務開始前に繰り上げる ことによる待ち時間の解消。</p> <p>○中央放射線部門</p> <p>・CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける 予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日 数の短縮を図る。</p> <p>・MR検査数増加への対応 検査待ち日数解消のため、業務開始時間前及び土 曜日午前の予約検査の実施により、待ち日数の短縮 を図るも、稼働時間拡大効果よりも検査依頼数増加 の結果、待ち日数が伸びた。</p> <p>・検査件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT外来</th> <th>CT入院</th> <th>MR外来</th> <th>MR入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>19,236</td> <td>4,856</td> <td>6,973</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>21,798</td> <td>5,514</td> <td>7,412</td> <td>1,663</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> </tbody> </table> <p>・検査待ち日数 (CT) H21：14日→H22：10日 →H23：7日 (MR) H21：21日→H22：17日 →H23：21日</p>		総数	60分 未満	～90 分	90分 超	H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%		CT外来	CT入院	MR外来	MR入院	H21	19,236	4,856	6,973	1,440	H22	21,798	5,514	7,412	1,663	H23	22,636	5,841	7,994	1,693			
	総数	60分 未満	～90 分	90分 超																																								
H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%																																								
H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%																																								
	CT外来	CT入院	MR外来	MR入院																																								
H21	19,236	4,856	6,973	1,440																																								
H22	21,798	5,514	7,412	1,663																																								
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																								
	<p>・医師等の配置及び手術室の運用の改善等により、 手術の実施体制を再整備し、手術待ちの改善を図 る。</p>				<p>・総合麻酔センターの設置による麻酔部の強化に併 せ手術室の運用(手術枠管理)の改善等により、平 成22年度は手術件数が増加(H21年度：5,050 件→H23.2末：4,914件)。引き続き手術枠 等の効率的な運用により、手術待ち時間の改善に向 けた取り組みを行う。</p> <p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び麻酔 科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術 待ち時間を短縮できた。</p> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>55.2%</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407件</td> <td>5,614件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	稼働率	55.2%	56.9%	件数	5,407件	5,614件																														
	H22	H23																																										
稼働率	55.2%	56.9%																																										
件数	5,407件	5,614件																																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
10	院内環境の快適性向上 ・患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努め、病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。	III				・院内環境の快適性向上 ・患者や来院者により快適な環境を提供するため、進行中の改修工事、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。	・外来患者等利用者用駐車場の整備完了後、受診目的外での無断駐車や長時間駐車、長期間にわたる違法駐車を解消させるため、平成23年5月から駐車場の有料化を実施し、利用者が支障なく駐車できるようにした。	III		
	・治療効果を上げるための栄養管理の充実と患者の嗜好に配慮した選択メニューの拡充等、病院給食の改善を図る。					・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮した選択メニューを拡充するため、患者サービス満足度調査を実施し、病院給食の改善を図る。	・平成23年度嗜好調査を実施した。その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、味、種類等）、満足度、自由意見等 実施日：平成24年1月25日 対象者：一般食患者115人（回答68人） 特別食患者 85人（回答49人） ・特別な対策の実例 平成24年3月より、化学療法食の見直し・充実を図り、食欲不振患者に好評を得ている。（主食にだし茶漬けや焼きそば・あげ寿司などの種類を増加。汁・煮物等の日替わり化、小付けの充実等を行った。）			
11	・医療情報に関する相談体制の整備 カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を整備する。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。	III				・医療情報に関する相談体制の整備 情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する	・平成23年10月3日に、職員を対象とした個人情報保護に関する研修を、外部講師を招いて実施した。 ・院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報の取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。 ・患者本人又は家族からの請求により、59件の個人情報を開示した。	III		
12	・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県	III				・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県	・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 ・外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を実施した。 タイトル：「医薬品使用時の安全管理～アナタの常識はワタシの常識ではない～」	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
	総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。					総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。	開催時期：平成23年5月 参加者数：215名 カルテ開示請求件数・開示件数																
							<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>請求件数</td> <td>59</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>59</td> <td>56</td> </tr> </table>		H22	H23	請求件数	59	56	開示件数	59	56							
	H22	H23																					
請求件数	59	56																					
開示件数	59	56																					
13	・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。	III				・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。	・セカンドオピニオン実施件数	III															
							<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外来受入</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>52</td> <td>64</td> <td>41</td> </tr> </table>		H21	H22	H23	外来受入	18	21	21	他院紹介	52	64	41				
	H21	H22	H23																				
外来受入	18	21	21																				
他院紹介	52	64	41																				
14	・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、地域住民から信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する意見を運営・管理に反映させるものとする。	III				・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。	・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。 委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成 開催：平成23年10月、24年3月 主な議題： ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況（収支）、新棟整備計画について ・法人関係新聞報道記事等について ・随時近隣住民からの意見・苦情については適正かつ速やかに対応した。	III															
15	・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設 患者支援システムは、①生活指導教室、②専門外来（女性外来、禁煙外来）、③緩和医療、④スキンケア（ストーマ、褥瘡（じょくそう））・NST（栄養サポートチーム）、⑤看護外来により構成し、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導	III				・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設 平成21年度に設置したメタボリックシンドローム予防センター部は、①生活指導教室、②専門外来（女性外来、禁煙外来）、③緩和医療、④スキンケア（ストーマ、褥瘡（じょくそう））・NST（栄養サポートチーム）、⑤看護外来により構成され、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し	・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防（患者支援システム）の構築を目指した。 ① メタボリック予防センター診療実績	IV															
							<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>メタボ外来</td> <td>370人</td> <td>661人</td> </tr> <tr> <td>メタボ看護外来</td> <td>178人</td> <td>137人</td> </tr> </table>		H22	H23	メタボ外来	370人	661人	メタボ看護外来	178人	137人							
	H22	H23																					
メタボ外来	370人	661人																					
メタボ看護外来	178人	137人																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																					
	管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。					再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。	<p>② 生活指導教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>72 人</td> <td>44 人</td> <td>87 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○肝臓病教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 23 年度</th> <th>11 月 : 10 人</th> <th>3 月 : 11 人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③専門外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来</th> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">女性外来</td> <td>初診</td> <td>118 人</td> <td>176 人</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td>1,001 人</td> <td>1,436 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">禁煙外来</td> <td>初診</td> <td>29 人</td> <td>64 人</td> </tr> <tr> <td>受診者</td> <td>105 人</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>禁煙成功</td> <td>10 人</td> <td>41 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④褥瘡ケア 院内発生率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内発生率</td> <td>10 人</td> <td>9.4 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>NST 依頼件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>547 件</td> <td>1,486 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤看護外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フットケア</td> <td>161 人</td> <td>172 人</td> </tr> <tr> <td>在宅指導</td> <td>345 人</td> <td>312 人</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H22	H23	糖尿病教室	72 人	44 人	87 人	平成 23 年度	11 月 : 10 人	3 月 : 11 人				専門外来		H22	H23	女性外来	初診	118 人	176 人	再診	1,001 人	1,436 人	禁煙外来	初診	29 人	64 人	受診者	105 人	300 人	禁煙成功	10 人	41 人		H22	H23	院内発生率	10 人	9.4 人	H22	H23	547 件	1,486 件		H22	H23	フットケア	161 人	172 人	在宅指導	345 人	312 人		
	H21	H22	H23																																																												
糖尿病教室	72 人	44 人	87 人																																																												
平成 23 年度	11 月 : 10 人	3 月 : 11 人																																																													
専門外来		H22	H23																																																												
女性外来	初診	118 人	176 人																																																												
	再診	1,001 人	1,436 人																																																												
禁煙外来	初診	29 人	64 人																																																												
	受診者	105 人	300 人																																																												
	禁煙成功	10 人	41 人																																																												
	H22	H23																																																													
院内発生率	10 人	9.4 人																																																													
H22	H23																																																														
547 件	1,486 件																																																														
	H22	H23																																																													
フットケア	161 人	172 人																																																													
在宅指導	345 人	312 人																																																													

1-1-3 診療体制の充実

中期 目標	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
16	<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域完結型の病院として、「病診連携室」を充実させ、地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。</p>	III				<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。そのため、「診療連携部」「病診連携室」「連携バス部」「なんでも相談室」の機能を充実させ、患者動向や医療需要を把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p>	<p>・患者動向や医療需要の変化に即した組織改編等を積極的に取り組んだ。</p> <p>○新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院長代理 (H23. 4. 1) ・高度先端医療センター (H23. 4. 1) ・臨床研究部 (H23. 4. 1) ・診療情報支援部-医療クラーク室 (H23. 4. 1) ・臨床工学部 (H23. 4. 1) ・心臓カテーテル室 (心臓血管センター内) (H23. 4. 1) ・成人先天性心疾患診療科 (H23. 4. 1) ・専門外来：頭痛外来・小児肝・内分泌外来、緩和ケア外来、心臓リハビリテーション外来、脚外来 (H23. 4. 1) ・母胎科 (母とこども医療センター内) (H23. 7. 1) ・救急外科 (H23. 9. 1) ・総合リハビリテーションセンター (H23. 11. 1) ・外来部 (H24. 1. 1) <p>○変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修センター部 → 研修人材センター部 (H23. 4. 1) <p>※事務局体制の強化 (H23. 4. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課人事労務担当チーフの設置 ・プロパー職員の採用 	IV		
17	<p>・多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の構築を図る。</p> <p>また、定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従事者を</p>	III				<p>・多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する医師等職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。</p> <p>また、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員のうち、質の高</p>	<p>・医師については年俸制による雇用制度を構築し、高度な専門性を有する読影医 (放射線診断科)、精神科医 (精神科) を登用した。</p> <p>放射線科医師 H22 : 3 名 → H23 : 3 名</p> <p>麻酔科医師 H22 : 5 名 → H23 : 7 名</p> <p>・非常勤職員の再雇用制度を構築し、質の高い医療</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	活用する再雇用制度の構築を図る。					い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従事者の雇用の充実を図る。	の提供に寄与すると認められる医師（麻酔科医）を再雇用し、更なる充実を図った。			
						・総合相談センターを設置し、総合案内・相談受付（コンシェルジュ）を置き、患者様等からの各種相談を一体的に受け付け、相談の内容により各々の専門窓口や専門の職員に対応を引き継ぐ。	・H23.4月から総合相談センターを開設し、窓口担当者（コンシェルジュ）を常時2名を配置し、多岐にわたる相談窓口の一元化を図った。 窓口担当者が受けた相談を適切な担当者へ引き継げるよう相談内容別の担当者一覧表を整理し、迅速に対応できる体制とした。 また、苦情についても各部門に担当者を選任し、たらい回しとならない体制を構築した。			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標	近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
18	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との役割分担の明確化と地域の医療機関との連携及び協力体制の充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（40%以上）、逆紹介率（60%以上）の強化をめざし、また「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p>	IV				<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p>	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>59.5%</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>72.8%</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療推進協議会の開催</p> <p>当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を実施した。</p> <p>第1回：平成23年6月20日 第2回：平成23年11月4日</p>		H21	H22	H23	紹介率	59.5%	61.5%	61.8%	逆紹介率	72.8%	73.4%	72.7%	IV		
	H21	H22	H23																			
紹介率	59.5%	61.5%	61.8%																			
逆紹介率	72.8%	73.4%	72.7%																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																											
							第3回：平成24年1月20日 第4回：平成24年3月2日																																														
19	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の連携パスについては、更なる改善・充実を図る。5大がん、生活習慣病などについても、連携パスの作成・普及に努めるものとする。</p>	III			<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに地域ガン連携計画についても、大学病院等関係医療機関と共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による連携パスの院内での普及、活用に努め、適用率を高める。</p>	<p>・連携パス部では、院内への周知、定期的なモニタリングを行い、院内外の相談窓口となり連絡調整を行った。 ・地域の医師会、大学病院を中心として、平成23年度は下記の通り会合を持ち、各パスのワーキングへの出席時に問題提起し、改善へとつなげた。</p> <p>・地域連携パスの検討状況（平成23年度学習会開催数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コーディネータ検討会</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・岐阜地域連携クリニカルパスは現在21種類ある、当病院での平成23年度運用実績は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>10件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>160件</td> <td>91件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>72件</td> <td>203件</td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ1</td> <td>5件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ2・3</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>11件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>—</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>—</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	回数	胃がん	1	肝炎	1	急性心筋梗塞	3	大腿骨頸部骨折	3	泌尿器	1	コーディネータ検討会	4	連携パス名	H22	H23	急性心筋梗塞	10件	6件	大腿骨頸部骨折	160件	91件	脳卒中	72件	203件	胃癌ステージ1	5件	28件	胃癌ステージ2・3	2件	3件	肝がん	2件	1件	大腸がん	11件	46件	乳がん	—	13件	肝炎	—	2件	III		
区分	回数																																																				
胃がん	1																																																				
肝炎	1																																																				
急性心筋梗塞	3																																																				
大腿骨頸部骨折	3																																																				
泌尿器	1																																																				
コーディネータ検討会	4																																																				
連携パス名	H22	H23																																																			
急性心筋梗塞	10件	6件																																																			
大腿骨頸部骨折	160件	91件																																																			
脳卒中	72件	203件																																																			
胃癌ステージ1	5件	28件																																																			
胃癌ステージ2・3	2件	3件																																																			
肝がん	2件	1件																																																			
大腸がん	11件	46件																																																			
乳がん	—	13件																																																			
肝炎	—	2件																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
20	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 地域の療養機関との連携及び協力の体制の充実を図り、「病診連携」をさらに推進させる。また、退院調整室の機能強化を図る。</p>	III				<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 MSWの増員(3名)を図るとともに、地域のかかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員等との連携及び協力の体制の充実を図るため、合同カンファレンスを開催するなど、適宜連絡調整を図る。また、病診連携部や地域医療部の現状を分析し、機能強化を図るなど「病診連携システム」をさらに推進させる。</p>	<p>・「患者様の生活を支援するために、地域の関連機関と協力し看護ができるように努めます」を目標に実践した。 ○病診・病病連携の現状及び病診連携システムの取り組み状況 ・開放型病床(100床)の利用状況(利用率) H21:72.6% → H22:75.3% → H23:66.3% ・オープン病床クリニカルミーティングの開催 開催日:24年2月23日(木) 参加者:96名(うち院外:35名) ・退院調整件数 H21(946件)→H22(1142件)→H23(1084件) ・平成22年4月から介護支援連携を実施し、近隣の居宅介護事業者及び地域包括支援センターと連携を図った。 介護施設・ケアマネージャからの連携連絡票数 H21:47件 → H22:198件 → H23:254件 ・MSWの新規採用等による増員等(看護師からMSWへの振替)により、退院調整業務について効率化と機能強化を図った。 退院調整看護師 H22:3人→H23:2人 退院調整MSW H22:0人→H23:2人</p>	III		

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期目標	<p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県総合医療センターとして重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「女性と子ども医療」を、岐阜県総合医療センターにおける重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
21	<p>・救命救急センター(救命救急医療) 全診療科が対応し、循環器系疾患、外傷を始め、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含めすべての救命救急疾患に対し即対応で</p>	III				<p>・救命救急センター(救命救急医療) 岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして、平成22年度に改定された救命救急センター運営マニュアルに基づき、特殊な症例を含めすべての救命</p>	<p>・岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして精神科疾患を除く全ての救急疾患を対象に、24時間体制で対応している。また、平成22年6月からは、地域の医療機関との</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
	きるよう、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図る。また、脳卒中を主とする脳血管障害には、神経内科・脳神経外科が対応する。					救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。	<p>連携による体制をとっている。とくに二次、三次の重症症例及び、複数診療科に係る重症症例を受け入れ救急医療の完結を目指している。臨床検査、放射線検査を常時可能とし、救急関係診療科は24時間呼び出し体制を採り、緊急手術も常時行い得る体制を採っている。各種の高度診断用機器、治療用機器を導入し、高度な医療が提供できるように努めている。日本救急医学会認定医指定施設、基幹災害医療センターに指定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来担当医は内科系、外科系、小児科系各々1名で24時間体制で対応している。また、夜間（17:15～翌8:30）・休日は地域の医療機関と連携し、外科及び内科の医師の派遣を受けるとともに研修医3名が診療に参加している。入院診療は各診療科部長の責任下の主治医制である。 ・麻酔科医、産婦人科医、内科系および外科系の専門診療科医：オンコール体制により常時専門的診療および手術に対応できる体制を採っている。手術室看護師も当直看護師2名に加えオンコール体制をとっている。 ・病床利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延患者数</td> <td>8,145</td> <td>8,483</td> <td>8,182</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>74.4%</td> <td>77.5%</td> <td>74.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車受入台数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,328</td> <td>4,888</td> <td>4,709</td> </tr> <tr> <td>同 一日平均台数</td> <td>11.9</td> <td>13.4</td> <td>12.9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・救急外来患者（診療科別：上位のみ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>8,774</td> <td>8,763</td> <td>8,936</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,060</td> <td>3,169</td> <td>3,207</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,365</td> <td>2,537</td> <td>2,604</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>4,292</td> <td>2,065</td> <td>2,330</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,117</td> <td>2,283</td> <td>2,193</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,838</td> <td>2,092</td> <td>1,885</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>826</td> <td>1,549</td> <td>1,665</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,396</td> <td>6,517</td> <td>6,534</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28,668</td> <td>28,975</td> <td>29,354</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H21	H22	H23	延患者数	8,145	8,483	8,182	病床利用率	74.4%	77.5%	74.5%	区分	H21	H22	H23	救急車受入件数	4,328	4,888	4,709	同 一日平均台数	11.9	13.4	12.9	診療科・年度	H21	H22	H23	小児科	8,774	8,763	8,936	消化器内科	3,060	3,169	3,207	整形外科	2,365	2,537	2,604	総合診療科	4,292	2,065	2,330	外科	2,117	2,283	2,193	循環器内科	1,838	2,092	1,885	神経内科	826	1,549	1,665	その他	5,396	6,517	6,534	計	28,668	28,975	29,354		
年度	H21	H22	H23																																																																						
延患者数	8,145	8,483	8,182																																																																						
病床利用率	74.4%	77.5%	74.5%																																																																						
区分	H21	H22	H23																																																																						
救急車受入件数	4,328	4,888	4,709																																																																						
同 一日平均台数	11.9	13.4	12.9																																																																						
診療科・年度	H21	H22	H23																																																																						
小児科	8,774	8,763	8,936																																																																						
消化器内科	3,060	3,169	3,207																																																																						
整形外科	2,365	2,537	2,604																																																																						
総合診療科	4,292	2,065	2,330																																																																						
外科	2,117	2,283	2,193																																																																						
循環器内科	1,838	2,092	1,885																																																																						
神経内科	826	1,549	1,665																																																																						
その他	5,396	6,517	6,534																																																																						
計	28,668	28,975	29,354																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																
22	<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等に循環器内科・心臓血管外科が中心となって、内科的・外科的治療をする。</p>	III				<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等心臓血管系の疾患患者に対し、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携して治療するチーム医療を推進するとともに、専門の診療科（不整脈科、心臓カテーテル室）を設け、不整脈治療、カテーテル治療、外科的治療、心臓リハビリテーションなど患者にとって最適な治療を提供する。</p>	<p>・心臓血管センターは内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が共同で心臓血管系の疾患を治療する部門で県内でも初めての施設である。</p> <p>・年間の手術件数（平成23年度実績）は、240例で、心臓外科領域では、冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が43例、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が42例などである。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が53例、動脈バイパス術などの末梢血管が19例などである。</p> <p>・手術・検査数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,618</td> <td>1,619</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>PCI</td> <td>430</td> <td>460</td> <td>443</td> </tr> </tbody> </table> <p>・循環器系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AbIaT</td> <td>90</td> <td>97</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>PMI</td> <td>65</td> <td>52</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>CRT</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ICD</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>CRT-D</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・心臓呼吸器外科系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR</td> <td></td> <td>15</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>TEVAR</td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H21	H22	H23	心臓カテーテル	1,618	1,619	1,600	PCI	430	460	443	項目・年度	H21	H22	H23	AbIaT	90	97	135	PMI	65	52	57	CRT	8	1	2	ICD	19	15	15	CRT-D	9	3	5	項目・年度	H21	H22	H23	EVAR		15	42	TEVAR		1	7	III		
項目・年度	H21	H22	H23																																																							
心臓カテーテル	1,618	1,619	1,600																																																							
PCI	430	460	443																																																							
項目・年度	H21	H22	H23																																																							
AbIaT	90	97	135																																																							
PMI	65	52	57																																																							
CRT	8	1	2																																																							
ICD	19	15	15																																																							
CRT-D	9	3	5																																																							
項目・年度	H21	H22	H23																																																							
EVAR		15	42																																																							
TEVAR		1	7																																																							
23	<p>・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 総合周産期母子医療センター（総合周産期部）、新生児医療センター（新生児内科）、小児総合医療センター（小児科、小児外科、小児心臓外科、小児脳神経外科等）の3つのセンターを基幹とするよう再編し、センターの枠を超えた母とこどもの総合的</p>	III				<p>・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 産科・総合周産期部、小児医療関係各科（小児科、小児循環器内科、小児腎臓内科、小児心臓外科、小児外科、小児脳神経外科等）・新生児内科を基幹として、各科の枠を超えた母とこどもの総合的な高度医療を提供する。新生児医療センターでは専用のド</p>	<p>・4階のフロア全体と3階及び5階のフロアの一部で構成され、新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産科と小児科の枠を超えた高度医療を提供している。合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行っている。</p> <p>・当院は、新生児センターと隣接しており、また中央手術</p>	III																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
	な医療を実施する。新生児医療センターではドクターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センターの充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。					クターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センター等の充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。	<p>部にも1Wayで搬送できるので、いかなる周産期異常に対しても最良の体制で対処している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センターには、当院を受診されている妊婦だけではなく、県内や県外からの医療機関から、ヘリコプターや救急車による緊急母胎搬送などで紹介されてくるハイリスク妊婦を24時間態勢で、可能な限り受け入れ、産科と新生児科が連携をとりながら総合的なチーム医療を行っている。 当院で分娩される妊婦の76.4%は他病院からの紹介である。産科合併妊婦の61.7%が早産である。これらのほとんどが、母体救急搬送されてきた妊婦である。 母体搬送の受け入れ要請に対し、受入ができない事例があり、ネットワークシステムを活用し他の3次医療施設への受け入れをしていただいた。 総合医療センター全体では、平成23年4月現在44名の助産師が在籍し、助産師育成には毎年力を入れており、周産期の病棟では、ほとんど全ての看護師が助産師資格を有している。 当医院でのネットワーク調整件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調整理由・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産科病床満室</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>産科医師手術・処置</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>NICU満床</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 母体搬送の受け入れ件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>111</td> <td>122</td> <td>170 (4)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H23年度（）数値はヘリコプター搬送</p> <ul style="list-style-type: none"> 産科合併妊婦 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>146</td> <td>129</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>30</td> <td>17</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>血液型不適合</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	調整理由・年度	H21	H22	H23	産科病床満室	0	1	5	産科医師手術・処置	3	1	0	NICU満床	9	5	4	区分・年度	H21	H22	H23	母体搬送	111	122	170 (4)	救急搬送	15	16	11	項目・年度	H21	H22	H23	早産	146	129	145	PIH	28	35	49	常位胎盤・早期剥離	11	7	2	胎盤位置異常	30	17	32	羊水の異常	1	0	9	血液型不適合	1	1	0	胎児異常	7	8	32	IUGR	6	16	25		
調整理由・年度	H21	H22	H23																																																																						
産科病床満室	0	1	5																																																																						
産科医師手術・処置	3	1	0																																																																						
NICU満床	9	5	4																																																																						
区分・年度	H21	H22	H23																																																																						
母体搬送	111	122	170 (4)																																																																						
救急搬送	15	16	11																																																																						
項目・年度	H21	H22	H23																																																																						
早産	146	129	145																																																																						
PIH	28	35	49																																																																						
常位胎盤・早期剥離	11	7	2																																																																						
胎盤位置異常	30	17	32																																																																						
羊水の異常	1	0	9																																																																						
血液型不適合	1	1	0																																																																						
胎児異常	7	8	32																																																																						
IUGR	6	16	25																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																															
						<ul style="list-style-type: none"> 産科偶発合併妊婦 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>201</td> <td>262</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>64</td> <td>47</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>40</td> <td>17</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>120</td> <td>122</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table> 新生児センター運営状況 総入院数は昨年よりも増加している。低出生体重児の救命できる週数が年々低下し、現在は在胎週数22週台の救命も可能となっている。周産期センターの整備に伴い、在胎27週以前の母体搬送が増加し、1,500g以下の極低出生体重児の入院が増加している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>174</td> <td>197</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>128</td> <td>135</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>80</td> <td>81</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>27</td> <td>12</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>27</td> <td>33</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> 新生児手術状況 (件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科 (気管切開)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 	項目・年度	H21	H22	H23	婦人科系疾患	16	22	36	心・血管疾患	2	6	5	血液疾患	6	0	2	腎疾患	6	2	6	糖尿病・妊娠性糖尿病	4	6	23	甲状腺疾患	2	11	17	自己免疫・膠原病	2	0	5	呼吸器疾患	0	3	22	消化器疾患	3	2	0	精神・神経系	0	5	11	運動機能系	0	0	1	区分・年度	H21	H22	H23	総合周産期加算	201	262	314	ハイリスク妊娠	64	47	66	ハイリスク分娩	40	17	40	救急加算	120	122	171	項目・年度	H21	H22	H23	院内出生	174	197	224	院外出生	128	135	132	母体搬送	80	81	110	超低出生体重児	27	12	25	極低出生体重児	27	33	54	項目・年度	H21	H22	H23	小児心臓外科	4	6	8	小児脳神経外科	16	5	8	小児外科	6	13	19	耳鼻科 (気管切開)	1	1	1			
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																																																						
婦人科系疾患	16	22	36																																																																																																																						
心・血管疾患	2	6	5																																																																																																																						
血液疾患	6	0	2																																																																																																																						
腎疾患	6	2	6																																																																																																																						
糖尿病・妊娠性糖尿病	4	6	23																																																																																																																						
甲状腺疾患	2	11	17																																																																																																																						
自己免疫・膠原病	2	0	5																																																																																																																						
呼吸器疾患	0	3	22																																																																																																																						
消化器疾患	3	2	0																																																																																																																						
精神・神経系	0	5	11																																																																																																																						
運動機能系	0	0	1																																																																																																																						
区分・年度	H21	H22	H23																																																																																																																						
総合周産期加算	201	262	314																																																																																																																						
ハイリスク妊娠	64	47	66																																																																																																																						
ハイリスク分娩	40	17	40																																																																																																																						
救急加算	120	122	171																																																																																																																						
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																																																						
院内出生	174	197	224																																																																																																																						
院外出生	128	135	132																																																																																																																						
母体搬送	80	81	110																																																																																																																						
超低出生体重児	27	12	25																																																																																																																						
極低出生体重児	27	33	54																																																																																																																						
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																																																						
小児心臓外科	4	6	8																																																																																																																						
小児脳神経外科	16	5	8																																																																																																																						
小児外科	6	13	19																																																																																																																						
耳鼻科 (気管切開)	1	1	1																																																																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
						・助産師外来・保健指導実績（平成21年4月より開始） <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>229</td> <td>867</td> <td>992</td> </tr> <tr> <td>助産師外来</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>29</td> <td>129</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table>				項目・年度	H21	H22	H23	保健指導	229	867	992	助産師外来	5	2	2	母乳相談	29	129	210														
項目・年度	H21	H22	H23																																				
保健指導	229	867	992																																				
助産師外来	5	2	2																																				
母乳相談	29	129	210																																				
24	<p>・がん医療センター（がん医療）</p> <p>がんに対し、早期発見、早期治療など根治治療を実施する。がん末期患者に対しては医師、薬剤師、看護師などからなる緩和ケアチームが、がんによる痛みや不安などの苦痛をできる限り少なくし、患者と家族がよりよい生活を送ることができるよう支援する。</p>	III			<p>・がん医療センター（がん医療）</p> <p>平成22年4月に地域がん診療連携拠点病院として引続き指定を受け、地域の医療機関と密接な連携をとり、がん患者に対しより質の高い医療を提供する体制（①放射線治療体制、化学療法治療にかかるがん診療体制、②緩和ケア体制、③がん相談体制）の充実に努めるとともに、がんに対し、早期発見、早期治療など根治治療を実施する。がん末期患者に対しては医師、薬剤師、看護師などからなる緩和ケアチームが、がんによる痛みや不安などの苦痛をできる限り少なくし、患者と家族がよりよい生活を送ることができるよう支援する。また、がん患者と家族の療養上の不安や悩みに対応するために、「がん相談支援センター」の機能の充実に図る。</p>	<p>・がん医療センター（院内におけるがん医療に関する部門をまとめたものであり、「緩和ケアチーム、がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来、緩和ケア外来、化学療法室、がん登録室、地域連携がん部門・各診療部」により構成し）がん診療連携拠点病院に関する事業を実施し機能の充実に図った。</p> <p>・院内研修会の実施</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>医師</td> <td>医師の緩和ケア研修会</td> <td>30 (9)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>全職員</td> <td>岐阜県医療研究会：がん治療を支える口腔ケア</td> <td>148 (32)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>全職員</td> <td>がん診療連携拠点病院5周年記念講演：がんの予防と発生</td> <td>162 (1)</td> </tr> <tr> <td>7～12月</td> <td>看護師</td> <td>緩和ケアコース全6回</td> <td>13 (3)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>全職員</td> <td>臨末に生かす口腔ケア</td> <td>90 (0)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>全職員</td> <td>緩和ケア講演会</td> <td>145 (30)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・また、奇数月の第2水曜日はがんカンファレンスを院内・外の医師とともに行っており、がん事例の検討が行われている。【年間参加者数544人うち院内212人（約40%）】 【がん関連認定看護師】 がん性疼痛看護1名、がん化学療法看護1名、WOC3名、摂食嚥下障害看護1名</p> <p>・緩和ケアチームの体制 医師（6名）、歯科医師（1名）、看護師（5名）、薬剤師（1名）、臨床心理（2名）、栄養士（1名）、リハビリ（1名） 平成23年度緩和チーム依頼者数は174人であった。</p>				開催月	対象	内 容	参加者 (名)	5月	医師	医師の緩和ケア研修会	30 (9)	6月	全職員	岐阜県医療研究会：がん治療を支える口腔ケア	148 (32)	9月	全職員	がん診療連携拠点病院5周年記念講演：がんの予防と発生	162 (1)	7～12月	看護師	緩和ケアコース全6回	13 (3)	1月	全職員	臨末に生かす口腔ケア	90 (0)	3月	全職員	緩和ケア講演会	145 (30)	III	
開催月	対象	内 容	参加者 (名)																																				
5月	医師	医師の緩和ケア研修会	30 (9)																																				
6月	全職員	岐阜県医療研究会：がん治療を支える口腔ケア	148 (32)																																				
9月	全職員	がん診療連携拠点病院5周年記念講演：がんの予防と発生	162 (1)																																				
7～12月	看護師	緩和ケアコース全6回	13 (3)																																				
1月	全職員	臨末に生かす口腔ケア	90 (0)																																				
3月	全職員	緩和ケア講演会	145 (30)																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
						<p>・治療の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度・区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,173</td> <td>1,269</td> <td>1,285</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>3,079</td> <td>3,308</td> <td>3,242</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>919</td> <td>866</td> <td>845</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>419</td> <td>421</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度・区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,426</td> <td>2,409</td> <td>2,513</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>49,997</td> <td>54,574</td> <td>61,128</td> </tr> <tr> <td>院内死亡がん患者</td> <td>141</td> <td>147</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん相談支援センターは、「相談室」「サトノホニオ」 「退院調整室」の3つの部署のがん相談をまとめている。</p> <p>・がん相談支援センターの活動実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>951 件</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,130 件</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,402 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談内容は、在宅医療、介護・看護、ホスピス・緩和ケア、転院、セカンドオピニオン、治療の順が多い。</p> <p>・また、23年1月からは、がん患者サロンを「ほっとサロン」と命名し、毎月1回開催した。</p>	年度・区分	H21	H22	H23	外科的治療	1,173	1,269	1,285	外来がん化学療法	3,079	3,308	3,242	入院がん化学療法	919	866	845	放射線治療	419	421	400	年度・区分	H21	H22	H23	入院	2,426	2,409	2,513	外来	49,997	54,574	61,128	院内死亡がん患者	141	147	123	H21	951 件	H22	1,130 件	H23	1,402 件			
年度・区分	H21	H22	H23																																																
外科的治療	1,173	1,269	1,285																																																
外来がん化学療法	3,079	3,308	3,242																																																
入院がん化学療法	919	866	845																																																
放射線治療	419	421	400																																																
年度・区分	H21	H22	H23																																																
入院	2,426	2,409	2,513																																																
外来	49,997	54,574	61,128																																																
院内死亡がん患者	141	147	123																																																
H21	951 件																																																		
H22	1,130 件																																																		
H23	1,402 件																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																		
25	<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。</p>	III				<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、婦人科疾患、乳腺疾患等さまざまな女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。また、女性の「心」・「体」を総合的に診察する「女性外来」を専門外来として設置する。</p>	<p>・診療体制は、院内各診療科常勤女性医師20名（内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科など）と昨年度11名と比べて増強を図り、サポート（必要に応じ、院内女性心理療法士による心理カウンセリングも可能）している。</p> <p>・当院では、8階東病棟を「女性病棟」として、婦人科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療に取り組んだ。</p> <p>女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎづくりに努めた。</p> <p>特にソフト面での気配りとして、カーテンの色、病棟の色彩、談話室の雑誌、病棟に流れる音楽等に女性的なものを導入した。</p> <p>・実績（8東入院患者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>596</td> <td>613</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>385</td> <td>378</td> <td>457</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>214</td> <td>195</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table> <p>・婦人科疾患</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卵巣癌</td> <td>129</td> <td>68</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>卵巣腫瘍</td> <td>70</td> <td>72</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>子宮癌（体・内膜）</td> <td>95</td> <td>75</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>子宮筋腫</td> <td>59</td> <td>66</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>69</td> <td>95</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>149</td> <td>139</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table> <p>・女性外来患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,289人</td> <td>1,133人</td> <td>1,612人</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H21	H22	H23	産婦人科	596	613	559	外科	385	378	457	消化器科	214	195	183	項目・年度	H21	H22	H23	卵巣癌	129	68	83	卵巣腫瘍	70	72	66	子宮癌（体・内膜）	95	75	71	子宮筋腫	59	66	44	子宮頸がん	69	95	79	乳がん	149	139	169	H21	H22	H23	1,289人	1,133人	1,612人	III		
項目・年度	H21	H22	H23																																																									
産婦人科	596	613	559																																																									
外科	385	378	457																																																									
消化器科	214	195	183																																																									
項目・年度	H21	H22	H23																																																									
卵巣癌	129	68	83																																																									
卵巣腫瘍	70	72	66																																																									
子宮癌（体・内膜）	95	75	71																																																									
子宮筋腫	59	66	44																																																									
子宮頸がん	69	95	79																																																									
乳がん	149	139	169																																																									
H21	H22	H23																																																										
1,289人	1,133人	1,612人																																																										

1 -2 調査研究事業

中期目標	岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上並びに県民の健康意識の醸成を図るための調査及び研究を行う
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																									
26	<p>・治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加を図り、「治験センター」の認定を目指す。</p> <p>平成20年度の実績は、18件である。</p> <p>平成21年度の見込は、19件である。</p>		IV			<p>・治験管理センター部において、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成22年度の実績は、24件である。</p> <p>平成23年度の目標は、24件である。</p>	<p>・平成23年度の治験の件数は28件、うち新規は半数以上の15件となり、目標を上回った。</p> <p>・治験件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>前年との増加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>治験件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>24件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>76件</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>48件</td> <td>41件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○治験部門の体制</p> <p>部長 1名 副部長 1名 課長 1名 係員 1名 事務員 1名 治験コーディネータ 6名</p> <p>・主な調査研究事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担当科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯の臨床的効果</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究</td> <td>腎臓内科</td> </tr> </tbody> </table>	H21	H22	H23	前年との増加数	19	24	28	4		H22	H23	治験実施件数	24件	28件	治験症例件数	76件	85件	受託研究件数	48件	41件	研究内容	担当科	大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯の臨床的効果	外科	慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究	腎臓内科	IV	
H21	H22	H23	前年との増加数																																
19	24	28	4																																
	H22	H23																																	
治験実施件数	24件	28件																																	
治験症例件数	76件	85件																																	
受託研究件数	48件	41件																																	
研究内容	担当科																																		
大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯の臨床的効果	外科																																		
慢性腎臓病患者を対象とした疫学研究	腎臓内科																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
27	・先端医療など新しい医療について研究、研修を行うとともに、EBMに基づく医療を行い、疫学統計調査や臨床研究を行いつつ管理する「臨床研究部(仮称)」を創設する。	III				・臨床研究部を設置し、治験、EBM、臨床研究、その他疾病研究、統計、公的助成等外部競争的資金の獲得及び論文・学会発表等の調査及び臨床研究等を推進する。	・平成23年度から臨床研究部を設置した。	III		

1-2-2 診療等の情報の活用

中期 目標	電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
28	・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図る。また、電子カルテ導入によりペーパーレス化、フィルムレス化を図るとともに、業務の効率化とスピード化を図り、医療機関との連携など医療体制の充実を図る。	III				・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療の質の向上に寄与し医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。また、医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の管理機能の充実を図るとともに、情報提供による地域の医療機関との連携など医療体制の充実を図る。	・医師及び研修医156名が電子カルテに登録した診療記録について、入院診療計画書との整合性、診断過程の記述内容などを診療情報管理部長等が監査し、そのレベル向上を図った。 ・診療情報から抽出したDPCデータを分析ソフトを活用し、加えてコンサルタントを活用したことにより、診療科別に症例検討を実施し、DPC収益が対前年110.5%増と効果がみられた。 ・診療材料について、当院使用の上位100品目について価格比較を実施し、価格交渉を行いコスト削減ができた。(材料比率H22比較 29.2%→29.0%)	III		
29	・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理業務体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理する。また、他職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。	III				・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理業務体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理する。また、医療の質の向上のため、他職種による合同カンファレンスなどで、診療内容を共有化し評価することで、治療成績などの公表を推進するための臨床研究部を設置する。	・医学統計などへの活用 電子カルテに登録されている「i院サマリー」の主病名を病歴管理システムにデータ連携させ、当該システムにより集計し、医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」とがん登録システムを連携させ、県に提出する地域がん登録届出票を1,246件作成するなど、電子カルテに集積されたデータの有効活用を行った。 ・各診療科・センター毎に診療内容及びカンファレ	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							ンス並びに保健医療についてホームページにて随時情報を提供した。			

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期 目標	県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
30	・公開講座、医療相談会等の定期的開催 平成20年度の実績は、「岐阜県総合医療センターで受けられる最新の医療」と題し、当センターで受けられる最新医療を紹介したり、模擬カンファレンス等を実施した。平成21年度は、「感染症対策～新型インフルエンザにそなえる～」と題してセミナーを開催するなど、今後も県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーを開催したり模擬カンファレンス等を実施する。	III				・公開講座、医療相談会等の定期的開催 引き続き、県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーの開催や模擬カンファレンス等を実施する。 平成22年度の実績は、「糖尿病について～急増する糖尿病にそなえる～」と題してセミナーを開催した。	・県民健康セミナーを開催し、県民の関心の高いテーマで情報発信を行った。 テーマ：「生活習慣病と認知症～予防と対策～」 日 時：平成23年11月12日（土） 13：30～16：00 参加者：150人	III		
31	・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」や、「診療案内」を発行するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。	III				・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」の定期発行や、必要に応じ「H22 診療案内」を改訂するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する	・紙媒体、インターネットを通じて、保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。 ・広報誌「けんこう」を平成24年2月1日に発行 ・「診療のご案内2011」を発行、 ・病診連携部PR誌「すこやか」を平成23年度に2回発行	III		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-3 教育研修事業
 1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期 目標	<p>教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、岐阜県立看護大学及び岐阜県立看護専門学校等の学生並びに救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>医師の卒後臨床研修等の充実 専門医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
32	<p>・質の高い医療従事者の養成 質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床研修プログラムを開発し、その推進体制を強化する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を確保する。</p>	III				<p>・質の高い医療従事者の養成 最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を引き続き検討する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。 ・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。 ・平成23年度医師派遣 ① 放射線治療科、派遣先：米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） ② 循環器内科、派遣先：横浜労災病院（1回/週） ③ 小児科、派遣先：静岡県立こども病院</p> <p>初期臨床研修医数 (各年3.31時点)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>25人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	医師	25人	29人	歯科医師	2人	2人	III		
	H22	H23																	
医師	25人	29人																	
歯科医師	2人	2人																	
33	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医に対しては、岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。</p>	III				<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医に対しては、新医師臨床研修制度に則った岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。また看護部、臨床検査科、中央放射線部等院内内の各部署の協力を得て、</p>	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。 ○平成23年度実績 後期研修医人数42人 学会参加 のべ112人日</p>	III											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
						研修プログラムが円滑に遂行できるよう引き続き支援するとともに、各種学会、研究会等へ参加できるよう支援する。	後期研修医数 (各年3.31時点)	H22	H23		
							医師	35人	42人		
							歯科医師	1人	0人		

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期 目標	県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
34	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成21年度見込 医学生の病院見学 4月～ 延べ35名 看護学生 4月～ 359名</p>	III				<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成22年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>H22. 4～H23. 2 延べ67名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>H22. 4～H23. 2 延べ1524名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立衛生専門学校</td> <td>随時実施</td> </tr> </table>	医学生の病院見学	H22. 4～H23. 2 延べ67名	看護学生	H22. 4～H23. 2 延べ1524名	岐阜県立衛生専門学校	随時実施	<p>・研修生の受け入れ実績は下記のとおりであり、前年実績を大幅に上回った。 平成23年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>年間延べ93名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜医療科学大学 弥富看護学校 他 年間延べ10,780名 </td> </tr> </table> <p>学生の実習受入状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>医学生</td> <td>78人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>10,673人</td> <td>10,780人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>67人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,818人</td> <td>10,941人</td> </tr> </table>	医学生の病院見学	年間延べ93名	看護学生	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜医療科学大学 弥富看護学校 他 年間延べ10,780名		H22	H23	医学生	78人	93人	看護学生	10,673人	10,780人	コメディカル	67人	68人	合計	10,818人	10,941人	III		
医学生の病院見学	H22. 4～H23. 2 延べ67名																																		
看護学生	H22. 4～H23. 2 延べ1524名																																		
岐阜県立衛生専門学校	随時実施																																		
医学生の病院見学	年間延べ93名																																		
看護学生	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県立衛生専門学校 岐阜県立看護大学 平成医療短期大学 岐阜大学医学部看護学科 岐阜医療科学大学 弥富看護学校 他 年間延べ10,780名																																		
	H22	H23																																	
医学生	78人	93人																																	
看護学生	10,673人	10,780人																																	
コメディカル	67人	68人																																	
合計	10,818人	10,941人																																	
35	・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実	III				・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実	・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施状況は下記のとおりであり計画を達成で	III																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
	<p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成20年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入実績は、18人である。</p> <p>平成21年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入見込は、63人である。</p> <p>また、4、7、10月に救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施した。</p>					<p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成22年度実績(救急救命士養成に関する臨床実習受入)</p> <table border="1"> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>4名</td></tr> <tr><td>岐阜県津市学校</td><td>35名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>1名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>2名</td></tr> <tr><td>各務原市消防</td><td>1名</td></tr> </table> <p>その他自衛隊の教官実習として6名受け入れ</p>	救急救命東京研修所	2名	東海医療工学専門学校	2名	自衛隊岐阜病院	4名	岐阜県津市学校	35名	名古屋市救急救命士養成所	1名	岐阜市、本巣市消防	2名	各務原市消防	1名	<p>きた。</p> <p>平成23年度実績(救急救命士養成に関する臨床実習受入)</p> <table border="1"> <tr><td>実習受け入れ施設等</td><td>H22</td><td>H23</td></tr> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>4名</td><td>9名</td></tr> <tr><td>岐阜県津市学校</td><td>35名</td><td>32名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>1名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>各務原市消防</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> </table> <p>救急救命士の実習受入状況</p> <table border="1"> <tr><td>H22</td><td>H23</td></tr> <tr><td>52人</td><td>49人</td></tr> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ</p> <p>薬剤師養成課程が6年となり、認定実務実習の重要性が増した。平成23年度は当センターでは岐阜薬科大学16名、名城大学2名の計18名の実習生を受け入れ人材の育成にあたった。</p>	実習受け入れ施設等	H22	H23	救急救命東京研修所	2名	2名	東海医療工学専門学校	2名	2名	自衛隊岐阜病院	4名	9名	岐阜県津市学校	35名	32名	名古屋市救急救命士養成所	1名	1名	岐阜市、本巣市消防	1名	2名	各務原市消防	1名	1名	H22	H23	52人	49人		
救急救命東京研修所	2名																																																		
東海医療工学専門学校	2名																																																		
自衛隊岐阜病院	4名																																																		
岐阜県津市学校	35名																																																		
名古屋市救急救命士養成所	1名																																																		
岐阜市、本巣市消防	2名																																																		
各務原市消防	1名																																																		
実習受け入れ施設等	H22	H23																																																	
救急救命東京研修所	2名	2名																																																	
東海医療工学専門学校	2名	2名																																																	
自衛隊岐阜病院	4名	9名																																																	
岐阜県津市学校	35名	32名																																																	
名古屋市救急救命士養成所	1名	1名																																																	
岐阜市、本巣市消防	1名	2名																																																	
各務原市消防	1名	1名																																																	
H22	H23																																																		
52人	49人																																																		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期目標	地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう地域への支援を行う。 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。 代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																								
36	・地域医療水準の向上 地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図る。 ○高度先進医療機器の共同利用 ・平成20年度実績 郡上市市民病院との遠隔画像診断、地域がん診療拠点病院として病理診断の実施 ○開放型病床の利用促進及び共同診療 平成20年度の実績は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、小児科開業医6名が小児急病センターに参加し、共同診療を実施した。また、開放型病床の登録医(387名/平成20年度末現在)とも共同診療を実施した。 平成21年度は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、さらに8月に新設された小児急病センターにおいて、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)が小児科輪番日に共同診療を実施する見込みである。	III				・地域医療水準の向上 地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会を開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。 ○高度先進医療機器の共同利用の推進 ・引き続き郡上市市民病院との遠隔画像診断を実施するほか、全自動免疫染色装置の導入による他院の病理標本の作製を受託するなど、地域がん診療拠点病院としてがん診療の技術向上等に努める。 ○開放型病床の利用及び共同診療の推進 ・岐阜県総合周産期母子医療センターの休日・夜間には、産科開業医13名、小児急病センターについては、各務原市医師会所属小児科開業医6名(各1回/月)が小児科輪番日に共同診療を実施しており、さらに夜間・休日診療体制を確立し、救急搬送など「断らない医療」の実現のため地域の勤務医(3名)の応援を得て共同診療を推進する。	・インフォームド・コンセントの重要性が高まるよう医療メディエーター研修を実施した。 ・セカンドオピニオン実施件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>52</td> <td>64</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> ・オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会の開催実績 岐阜地域医療連携研究会 (H22.6) 岐阜県総合医療センターオープン病床クリニカルミーティング (H23.2) ○高度先進医療機器の共同利用の推進 ・共同利用実績 【CT】 H21:485件 → H22:481件 → H23:443件 【MR I】 H21:311件 → H22:337件 → H23:345件 【PET】 H21:87件 → H22:78件 → H23:66件 【遠隔画像診断実施数】 郡上市市民病院 H21:174件 → H22:173件 → H23:197件 高度医療機器の共同利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>481件</td> <td>443件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>337件</td> <td>345件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>78件</td> <td>66件</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H22	H23	外来受入	18	21	21	他院紹介	52	64	41	機器名	H22	H23	CT	481件	443件	MR I	337件	345件	PET	78件	66件	III		
	H21	H22	H23																															
外来受入	18	21	21																															
他院紹介	52	64	41																															
機器名	H22	H23																																
CT	481件	443件																																
MR I	337件	345件																																
PET	78件	66件																																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
						遠隔画像診断機器 173 件 197 件 ○輪番制実施状況 ・小児病院群輪番 H21:172 日 → H22:163 日 → H23:179 日 ・内科・外科系病院群輪番 H21:66 日 → H22:66 日 → H23:62 日 ○共同診療の推進 平成 21 年度に引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ 12 名の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師 7 名が小児輪番日において共同診療を実施。 ○開放型病床の利用状況及び共同指導回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導回数</td> <td>12.7 回</td> <td>14.5 回</td> </tr> <tr> <td>開放型病床利用率</td> <td>75.1%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table> ※ 共同指導回数は月平均		H 2 2	H 2 3	共同指導回数	12.7 回	14.5 回	開放型病床利用率	75.1%	66.3%																				
	H 2 2	H 2 3																																	
共同指導回数	12.7 回	14.5 回																																	
開放型病床利用率	75.1%	66.3%																																	
37	医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 平成 20 年度の実績は、独立行政法人国立病院機構長良医療センター（1 名/週、脳神経外科）、岐阜県立下呂温泉病院（総合内科 2 人・神経内科 3 人・消化器内科延べ 6 人・腎臓内科延べ 2 人・呼吸器内科 1 人、小児科延べ 3 人）、下呂市立金山病院（1 人/月、外科延べ 12 人）等において診療における人的支援を行った。 平成 21 年度は、岐阜赤十字病院（2 名/週 循環器内科）、岐阜県立下呂温泉病院（6 月から 1 名：循環器内科、9 月から 1 名：整形外科、4 月から 1 名：小児科）、下呂市立金山病院（1 人/月、外科）、公立学校共済組合東海中央病院（10 月から 2 名/週 小児科）において診療における人的支援を行う見込みである。 今後も、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。	III		・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 平成 22 年度は、岐阜県立下呂温泉病院（4 月から 1 名：小児科、1 月から 1 名：産婦人科、随時：内科系・外科系）、高山赤十字病院（4 月から 1 名：外科、6 月から 1 名：循環器内科）、下呂市立金山病院（1 人/月 1 回当直、外科）、公立学校共済組合東海中央病院（4 月から 2 名/週 1 回 小児科）、木沢記念病院（9 月から 1 名/週 1 回：循環器内科）において診療における人的支援を行った。 今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。	・平成 23 年度は、岐阜県立下呂温泉病院（15 名）、高山赤十字病院（3 名）、揖斐厚生病院（1 名）、下呂市立金山病院（1 人/月 1 回当直）、木沢記念病院（1 名）において診療における人的支援を行った。 他の医療機関への人的支援の状況（延べ日数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399</td> <td>461</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>—</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>—</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>980</td> <td>971</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先 医療機関名	H 2 2	H 2 3	県立下呂温泉病院	399	461	高山赤十字病院	447	244	揖斐厚生病院	—	21	下呂市立金山病院	12	12	木沢記念病院	28	224	東海中央病院	94	—	東白川診療所	—	9	合 計	980	971	III		
派遣先 医療機関名	H 2 2	H 2 3																																	
県立下呂温泉病院	399	461																																	
高山赤十字病院	447	244																																	
揖斐厚生病院	—	21																																	
下呂市立金山病院	12	12																																	
木沢記念病院	28	224																																	
東海中央病院	94	—																																	
東白川診療所	—	9																																	
合 計	980	971																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
38	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援ができるよう、地域医療部の強化、総合診療科の新設などを検討する。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	III				<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて派遣する体制を整備</p> <p>・へき地派遣 (H23 実績)</p> <p>高山赤十字病院：循環器科3名、 下呂温泉病院：小児科5名、耳鼻咽喉科1名、外科1名、産婦人科1名、糖尿病内分泌内科4名、眼科1名、整形外科2名</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加した。</p> <p>後期研修医のへき地派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先 医療機関名	H22	H23	県立下呂温泉病院	11人	10人	合 計	11人	10人	IV		
派遣先 医療機関名	H22	H23																	
県立下呂温泉病院	11人	10人																	
合 計	11人	10人																	

1-4-2 社会的な要請への協力

中期 目標	岐阜県総合医療センターが有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
39	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力をを行う。	III				医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力をを行う。	<p>・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、随時求められる社会的な要請に対し協力を行ってきた。</p> <p>・岐阜大学への講師（医師）派遣実績 18人</p> <p>・岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣実績 19人</p> <p>・各種学校への講師（看護師）派遣 36人</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
						講師派遣の状況					
							H 2 2	H 2 3			
						医師	24 人	18 人			
						歯科医師	1 人	1 人			
						看護師	43 人	55 人			
						コメディカル	8 人	8 人			
						合 計	76 人	81 人			

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-5 災害等発生時における医療救護
1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期 目標	<p>災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣や災害派遣医療チームの派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練（公開）を行うなど指導的役割を發揮すること。 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
40	<p>・医療救護活動拠点機能確保、訓練実施 ・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れる。 また、NBC（核、生物、化学）災害に対しても対応できるよう、広域災害対策訓練を実施する。さらに全職員が積極的に参加して、職員・部署の役割分担、各部署の備蓄品等を見直し、災害等発生時患者の受入れ等求められる機能を發揮する組織を構築する。</p>	III				<p>・医療救護活動拠点機能確保、訓練実施 ・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れるとともに、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。 また、NBC（核、生物、化学）災害に対し、消防本部等の関係機関はじめ住民やボランティアの協力を得て、屋上ヘリポートを活用し、災害時の緊急を要する重篤患者の搬送を行う広域災害対策訓練を実施する。</p>	<p>・県内で震度5強以上の地震発生により、多数の負傷者が発生した場合を想定し、圏域の関係医療機関、関係消防本部と連携のもと、広域的な災害対策訓練を実施した。 日 時：平成23年8月27日(土) 訓練内容： 1 ヘリコプターによる患者受け入れ訓練 2 患者広域搬送訓練 3 トリアージ訓練 4 応急処置訓練 5 消防訓練 参加人員：190名</p>	III			
41	<p>・基幹災害医療センター機能強化 県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發</p>	III				<p>・基幹災害医療センター機能強化 県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發</p>	<p>・災害備蓄として各種備品を整備した。 主な備品：ストレッチャー、簡易ベッド、防毒マスク・スーツ、患者洗浄ブース、担架</p>	III			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	揮する。					揮する。	等 ・非常時において病室での収容人数を拡大するために、病室（通常4人→非常時8人）、待合室、会議室等での収容に対応した施設整備（酸素吸入用弁など）。 ・災害備品を消防学校等への貸出を行い、平時にも訓練し、緊急時に経験不足等によつての稼働率低下を防ぐ体制を整えた。			

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
42	大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。（5班体制：1班5名）	IV				・規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。（5班体制：1班5名） 平成22年度には、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）にてDMAT1班5名を派遣、また宮城県からの要請により災害医療班1班5名を派遣し、災害医療支援を実施した。	平成23年3月に引き続き、東日本大震災の被災地に医療救護班を派遣した。 派遣先：宮城県亘理町 ・平成23年4月2日（金）～4月6日（火） ・平成23年4月19日（月）～4月23日（金） ・平成23年4月25日（日）～4月29日（木） ・平成23年5月7日（金）～5月11日（火） ※いずれも、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務職1名の計5名の1チームで活動 活動内容：日中は小学校に設置された救護所で診察、夜間（18時～22時）は当番で公民館にて診察を行い、延べ260人の診察を行いました。	IV		
43	・訓練・研修への派遣 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために県内外のDMATとの訓練・研修に派遣することにより、質の向上と維持を図る。	III				大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために、国、中部地区、岐阜県が開催する訓練・研修に参加し、質の向上と維持を図る。（5班体制：1班5名を目標、平成22年度 DMAT 2班）	・医師の欠員を補充するため、災害派遣医療チーム研修に1名参加した。 ・DMAT技能維持研修に4名参加した。 ・岐阜DMAT研修会に5名参加した。 ・3名が岐阜DMAT隊員証の更新を申請した。	III		

○「1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組」に関する特記事項

<p>1-1 診療事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者からの各種相談を一体的に受け付け、スムーズに対応できるよう医師1名を常勤させ、「総合相談センター」を設置した。平成23年4月からは正面玄関にコンシェルジュ（常時2名）を設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる体制を強化した。 ・患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「高度先端医療センター、臨床研究部、臨床工学部、心臓カテーテル室、成人先天性心疾患診療科、母胎科、救急外科、総合リハビリテーションセンター、外来部」を設置した。 ・近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率61.8%、逆紹介率72.7%を達成した。 ・周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医12名の協力を得て、小児救急医療拠点病院としては各務原市医師会7名と連携した。また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加しその役割を果たした。 <p>1-2 調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験管理センター部において、治験の受託件数が毎年増加し、平成23年度計画24件に対して、28件の実績となり、大幅に目標を上回る実績となった。 	<p>1-3 教育研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。 <p>1-4 地域支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療を支援するため医師等の人的支援を実施した。（高山赤十字病院・県立下呂温泉病院・下呂市立金山病院他） <p>1-5 災害等発生時における医療救護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な要請への協力として、平成23年3月11日に発生した東日本大震災への医療救護に対し、平成22年度に1班及び医療救護班1班の派遣に引き続き、医療救護班4班20名を（最終班は5月）を継続して派遣し、被災地での医療救護活動に努めた。
---	--

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-1 効率的な業務運営体制の確立
 2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項				
44	・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な組織づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、職員の自主性を尊重し、職員それぞれが自己の役割を全うできるよう効率的・効果的な組織体制づくりをする	III				・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう組織体制を引き続き確保できる弾力的な組織づくりを進める。	・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 ※医療クラーク：18人増（20人→38人） ※病棟等看護クラーク：10人増（16人→26人） ・また、併せて事務局体制を強化するため、事務局次長及び総務課人事労務担当チーフを新設する組織改正を行った。	III						
45	・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、積極的にITを活用する。	III				・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、ITを活用することで、ペーパーレス化、迅速化など事務の合理化を図る。	・ASPサービスの利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算を行うパッケージソフトを導入し、旅費計算事務の効率化を図った。 ・電子カルテシステム最適化事業を実施し、システム全体を調査・分析し、次年度の委託業務の見直しを行うことにより、コスト削減を実現した。	III						
46	・アウトソーシング導入による合理化 定型的な業務のうち委託が可能なものについては、アウトソーシングの導入を図る。	III				・アウトソーシング導入による合理化 アウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。	・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的技術を有する部門について、アウトソーシングを導入しているが、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、平成23年度に質・量の徹底的な見直しを実施したことによって、次年度の契約において、大幅な経費節減を実現できた。 アウトソーシング導入件数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">H22</td> <td style="text-align: center;">H23</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,857件</td> <td style="text-align: center;">2,601件</td> </tr> </table> ※電子カルテシステム中のデータをCD出力した件数	H22	H23	1,857件	2,601件	III		
H22	H23													
1,857件	2,601件													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
47	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営企画機能を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p>	III				<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務局職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。</p>	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>独立行政法人化に合わせて、経営企画課を新設し、経営分析等を行うことで、経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。</p> <p>また、併せて事務局体制を強化するため、事務局次長及び総務課人事労務担当チーフを新設する組織改正を行った。</p>	III		

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	<p>医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。</p> <p>常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
48	<p>・弾力的運用の実施</p> <p>医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。</p> <p>脊椎脊髄外科センター、睡眠時無呼吸センター、前立腺センター、小児腎臓科、総合診療科等、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した診療科を設置し、また、漢方医療を活用した日本型医療の創生をめざし、漢方科の設置について検討する。</p>	III				<p>・弾力的運用の実施</p> <p>医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。平成23年度は、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来（女性、頭痛、ものわすれ）等を設置予定、平成22年度は、不整脈科、心臓リハビリテーション部、総合麻酔センター等を設置</p>	<p>・平成23年度においては、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来（頭痛、緩和ケア、心臓リハビリテーションなど）等を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p>	III														
49	<p>・効果的な体制による医療の提供</p> <p>常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。</p> <p>特に、医療職サポートシステム（医療クラーク、病棟等看護クラーク等）の強化、充実を図る。</p>	III				<p>・効果的な体制による医療の提供</p> <p>常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。</p> <p>特に、医療職サポートシステム（医療クラーク：20人（平成22年度）→26人、病棟等看護クラーク：17人（平成22年度）→20人）の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p> <p>医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>20人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36人</td> <td>64人</td> </tr> </table>		H22	H23	医師クラーク	20人	38人	看護クラーク	16人	26人	合計	36人	64人	IV		
	H22	H23																				
医師クラーク	20人	38人																				
看護クラーク	16人	26人																				
合計	36人	64人																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
50	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p>地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うなど、3法人間人材活用等のネットワーク化により、適正な職員配置を実現する。</p>	III				<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）</p> <p>地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。</p> <p>・人事交流実績（出向）</p> <p>他法人からの出向（受入）6名 [看護師（下呂温泉病院2名）、助産師（下呂温泉病院3名）、コメディカル（多治見病院1名）]</p> <p>他法人への出向 5名 [看護師（多治見病院1名）、コメディカル（多治見病院2名、下呂温泉病院2名）]</p> <p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>2(3)人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 看護師のうち（ ）は、助産師数</p>		H22	H23	医師	—	—	歯科医師	—	—	看護師	1人	1人	准看護師	0人	0人	コメディカル	10人	4人	合計				H22	H23	医師	—	—	歯科医師	—	—	看護師	1人	2(3)人	准看護師	0人	0人	コメディカル	1人	1人	合計			III		
	H22	H23																																																		
医師	—	—																																																		
歯科医師	—	—																																																		
看護師	1人	1人																																																		
准看護師	0人	0人																																																		
コメディカル	10人	4人																																																		
合計																																																				
	H22	H23																																																		
医師	—	—																																																		
歯科医師	—	—																																																		
看護師	1人	2(3)人																																																		
准看護師	0人	0人																																																		
コメディカル	1人	1人																																																		
合計																																																				

2-1-3 人事評価システムの構築

中期目標	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
51	・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するものとする。	III				・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するため、県内・他県の先進事例を参考に、独自の人事評価制度（BSC (Balanced Scorecard) の活用等）の構築に向け引き続き検討する。	・人事評価制度構築への取り組み状況 独自の人事評価制度の構築に向け、研修会に参加した（7/29 大阪）。 また、講師を招き評価者を対象としたセミナーを病院内で開催した（8/26）。 さらに2月には、人事評価制度検討委員会を発足させ、骨子案を作成した。	III		

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
52	・経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の専門研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修など事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。	III				・新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、論点整理した課題と問題点を今後の組織体制に活かすとともに更なる専門性の向上を図る。 そのため、平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組み、新人職員の院内研修を行うとともに人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に	・総務課内に「人事労務担当」を設置し、プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員4名）し病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。 ・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。 また、経営企画課職員ごとに職務に関連する研修に参加した。	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算や病院機能評価等を課題として実施した。 施設基準 診療内容を精査し、8項目を新規に届出し、収益性の向上に取り組んだ。 <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>0人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>30人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	プロパー職員	0人	10人	県派遣職員	30人	28人	合計	30人	38人		
	H22	H23																			
プロパー職員	0人	10人																			
県派遣職員	30人	28人																			
合計	30人	38人																			

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期 目標	透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
53	・入札・契約事務について、民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法を導入するなど、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減に努める。	III				・入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 診療材料について、マスター登録を精査し、病院全体で取り組んだ結果、登録材料件数約19,000件を約9,000件へと半減し、効率的な管理が推進できた。 保険償還のない材料を中心に、メーカー間の競争等を促し、価格交渉を継続して年間約800万円の節減に加え、保険償還のある材料についても価格交渉を継続し年間約170万円の節減となった。 各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行った。 	IV		

2-2-2 収入の確保

中期目標	地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																													
54	<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 担当職員の配置と空床管理マニュアルにより、有効な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。さらに、医療需要の変化や患者動向に対応できるよう診療科を多様化し、健診部門についても導入を目指す。</p>	III				<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 担当看護師の配置と空床管理マニュアルにより、効率的な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。 ・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導</td> <td>15.8</td> <td>12.7</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>72.6%</td> <td>75.3%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・MRI、CT、胃カメラ等の検査は登録医からの FAXにより気軽に予約が可能となっている。</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>7,925</td> <td>8,573</td> <td>8,546</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H23/H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>285,186</td> <td>274,440</td> <td>103.9</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,169</td> <td>1,129</td> <td>103.5</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,092</td> <td>3,965</td> <td>103.2</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>14,348</td> <td>14,448</td> <td>99.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>193,205</td> <td>191,389</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>528</td> <td>524</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>12,508</td> <td>11,590</td> <td>107.9</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>64,741</td> <td>60,555</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>13.4</td> <td>13.2</td> <td>101.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>病床稼働率</td> <td>%</td> <td>89.5</td> <td>88.9</td> <td>100.7</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H21	H22	H23	共同指導	15.8	12.7	14.5	病床利用率	72.6%	75.3%	66.3%	項目・年度	H21	H22	H23	FAX 予約	7,925	8,573	8,546			H23	H22	H23/H22	外来	患者数	人	285,186	274,440	103.9	平均患者数	人/日	1,169	1,129	103.5	診療額	百万円	4,092	3,965	103.2	診療単価	円/日	14,348	14,448	99.3	入院	患者数	人	193,205	191,389	100.9	平均患者数	人/日	528	524	100.8	診療額	百万円	12,508	11,590	107.9	診療単価	円/日	64,741	60,555	106.9	在院日数	日	13.4	13.2	101.5		病床稼働率	%	89.5	88.9	100.7	III	
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																				
共同指導	15.8	12.7	14.5																																																																																				
病床利用率	72.6%	75.3%	66.3%																																																																																				
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																				
FAX 予約	7,925	8,573	8,546																																																																																				
		H23	H22	H23/H22																																																																																			
外来	患者数	人	285,186	274,440	103.9																																																																																		
	平均患者数	人/日	1,169	1,129	103.5																																																																																		
	診療額	百万円	4,092	3,965	103.2																																																																																		
	診療単価	円/日	14,348	14,448	99.3																																																																																		
入院	患者数	人	193,205	191,389	100.9																																																																																		
	平均患者数	人/日	528	524	100.8																																																																																		
	診療額	百万円	12,508	11,590	107.9																																																																																		
	診療単価	円/日	64,741	60,555	106.9																																																																																		
	在院日数	日	13.4	13.2	101.5																																																																																		
	病床稼働率	%	89.5	88.9	100.7																																																																																		
55	<p>・未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、相談窓口拡充を図る。</p>	III				<p>・未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、入院患者に対し退院時に請求できる体制づくりへの取組や相談窓口拡充を図る。 発生した未収金については、平成22年度に債権回</p>	<p>○発生防止 ・入院説明室（H22.5設置）で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その</p>	IV																																																																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
						<p>収に係る委託契約を締結しており回収状況を確認するとともに、引き続き先進的な取組を行っている病院の取り組みを参考に実効性のある回収手段を検討する。</p>	<p>手続きを依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。 <p>○回収</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月2回、定期的に督促状を発布し、早期に未収金回収に着手した。 督促状発布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。 回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 <p>○回収実績 (H24.2 現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>12,397 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>19.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収金対策部会 (H22.12 設置) がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。 病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合は退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談員を2名増員し、各種医療相談への対応を充実させた。(H22 から) クレジットカード決済を導入 (H22.7) し、支払機会の拡大を図ることで、入院費などの高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。 		実 績	委託金額	64,558 千円	回収金額	12,397 千円	回収率	19.2%			
	実 績																	
委託金額	64,558 千円																	
回収金額	12,397 千円																	
回収率	19.2%																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																
						<p>○クレジットカード利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td> <td>3.29 件</td> <td>4.90 件</td> </tr> <tr> <td>金 額</td> <td>11.20%</td> <td>14.76%</td> </tr> </tbody> </table> <p>未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H 2 2</th> <th colspan="2">H 2 3</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>815</td> <td>83,963</td> <td>877</td> <td>84,110</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>491</td> <td>43,898</td> <td>429</td> <td>29,932</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,306</td> <td>127,861</td> <td>1,306</td> <td>114,042</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各年度、翌年5月31日現在の数値</p>		H 2 2	H 2 3	件 数	3.29 件	4.90 件	金 額	11.20%	14.76%		H 2 2		H 2 3		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	815	83,963	877	84,110	現年分	491	43,898	429	29,932	合 計	1,306	127,861	1,306	114,042			
	H 2 2	H 2 3																																								
件 数	3.29 件	4.90 件																																								
金 額	11.20%	14.76%																																								
	H 2 2		H 2 3																																							
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																						
過年分	815	83,963	877	84,110																																						
現年分	491	43,898	429	29,932																																						
合 計	1,306	127,861	1,306	114,042																																						
56	<p>・入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 入院時医学管理加算の強化や看護師の集中による集中治療加算など、診療報酬を増やし収入が確保できる体制を整備する。</p>	III			<p>・入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 現在の入院時医学管理加算等の加算を維持するとともに、小児入院医療管理料3や褥瘡ハイリスク患者ケア加算など診療報酬を増やし収入が確保できる診療体制を整備する。</p>	<p>・入院時医学管理加算（総合入院体制加算）として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上が達成できた。</p> <p>・実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>59.5%</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>71.2%</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>44.7%</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H21	H22	H23	紹介率	59.5%	61.5%	61.8%	逆紹介率	71.2%	73.4%	72.7%	退院時加算	44.7%	42.1%	44.5%	IV																			
項目・年度	H21	H22	H23																																							
紹介率	59.5%	61.5%	61.8%																																							
逆紹介率	71.2%	73.4%	72.7%																																							
退院時加算	44.7%	42.1%	44.5%																																							

2-2-3 費用の削減

中期目標	薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の削減に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																										
57	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>専門職員を配置し、他病院での医薬品・診療材料等の購入価格や後発医薬品の使用状況を調査・分析し、効率的・経済的な購入に努め、費用の削減を図る。</p>	III				<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・医薬品費、診療材料費等の材料費を対前年度比で1%の削減を図り、医業収益の30%以下を目指す。</p> <p>・ジェネリック医薬品の使用率を8.9%（平成22年度）から9.7%以上を目指す。</p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>10.74%</td> <td>12.53%</td> <td>1.79%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・</p> <p>ジェネリック医薬品の使用比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.36</td> <td>6.51</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>11.96</td> <td>10.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>医業収益に対する材料費比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.46</td> <td>14.34</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.07</td> <td>14.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高度医療において、高額材料を使用した事例が増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 胸部・腹部大動脈ステントグラフとの増加 機械弁等の単価50万円以上診療材料の増加（対前年150.7%） 	年度	H22	H23	増加率	使用率	10.74%	12.53%	1.79%		H22	H23	品目ベース	6.36	6.51	金額ベース	11.96	10.01		H22	H23	薬品費	15.46	14.34	診療材料費	13.07	14.06	III		
年度	H22	H23	増加率																																	
使用率	10.74%	12.53%	1.79%																																	
	H22	H23																																		
品目ベース	6.36	6.51																																		
金額ベース	11.96	10.01																																		
	H22	H23																																		
薬品費	15.46	14.34																																		
診療材料費	13.07	14.06																																		

○「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」に関する特記事項

2-1 効率的な業務運営体制の確立

- ・理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、「高度先端医療センター、臨床研究部、臨床工学部、心臓カテーテル室、母胎科、救急外科、総合リハビリテーションセンター、外来部」を設置した。
- ・管理部門に経営管理課を設置し、経営状況の分析、経営課題への取り組み方針等を検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み、集計の増加やコスト削減を進めた。
また、人事労務担当を独立設置し、病院機能の高度化・充実に要する職員の効果的な採用を行った。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

- ・業務運営の効率化について、医療機器・医薬品・診療材料の調達に関する検討委員会を設置し、院内で統一した購入方針・物品等管理方法等への取組を行い、効率的な調達をすることとした。
- ・診療材料については、コンサルタントを活用して材料ごとに価格等のデータ収集・分析を行い、積極的な価格交渉により経費削減を行った。
- ・DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科へデータ等をフィードバックするなど、病院全体でコスト削減に対する意識を醸成した。

3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																	
58	<p>「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	IV				<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率98.8%、及び職員給与費対医業収益比率47.2%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>97.2%</td> <td>98.8%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.4%</td> <td>47.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	経常収支	97.2%	98.8%	職員給与費	47.4%	47.2%	III																																																																										
	H22	H23																																																																																									
経常収支	97.2%	98.8%																																																																																									
職員給与費	47.4%	47.2%																																																																																									
<p>3-1 予算（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>79,931</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>74,758</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,755</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>1,418</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,148</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,010</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>9,101</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>4,766</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>4,335</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収入		営業収益	79,931	医業収益	74,758	運営費負担金収益	3,755	その他営業収益	1,418	営業外収益	1,148	運営費負担金収益	1,010	その他営業外収益	138	資本収入	9,101	長期借入金	4,766	運営費負担金	4,335	その他資本収入	0	その他の収入	0			<p>3-1 予算（平成23年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>16,842</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>15,819</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>912</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,284</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,241</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>2,043</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収入		営業収益	16,842	医業収益	15,819	運営費負担金収益	912	その他営業収益	110	営業外収益	256	運営費負担金収益	217	その他営業外収益	39	資本収入	3,284	長期借入金	1,241	運営費負担金	2,043	その他資本収入	0	その他の収入	0	<p>3-1 決算（平成23年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>18,132</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>16,924</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>904</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>2,287</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,235</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>1,046</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収入		営業収益	18,132	医業収益	16,924	運営費負担金収益	904	その他営業収益	303	営業外収益	288	運営費負担金収益	217	その他営業外収益	71	資本収入	2,287	長期借入金	1,235	運営費負担金	1,046	その他資本収入	6	その他の収入	17
区 分	金 額																																																																																										
収入																																																																																											
営業収益	79,931																																																																																										
医業収益	74,758																																																																																										
運営費負担金収益	3,755																																																																																										
その他営業収益	1,418																																																																																										
営業外収益	1,148																																																																																										
運営費負担金収益	1,010																																																																																										
その他営業外収益	138																																																																																										
資本収入	9,101																																																																																										
長期借入金	4,766																																																																																										
運営費負担金	4,335																																																																																										
その他資本収入	0																																																																																										
その他の収入	0																																																																																										
区 分	金 額																																																																																										
収入																																																																																											
営業収益	16,842																																																																																										
医業収益	15,819																																																																																										
運営費負担金収益	912																																																																																										
その他営業収益	110																																																																																										
営業外収益	256																																																																																										
運営費負担金収益	217																																																																																										
その他営業外収益	39																																																																																										
資本収入	3,284																																																																																										
長期借入金	1,241																																																																																										
運営費負担金	2,043																																																																																										
その他資本収入	0																																																																																										
その他の収入	0																																																																																										
区 分	金 額																																																																																										
収入																																																																																											
営業収益	18,132																																																																																										
医業収益	16,924																																																																																										
運営費負担金収益	904																																																																																										
その他営業収益	303																																																																																										
営業外収益	288																																																																																										
運営費負担金収益	217																																																																																										
その他営業外収益	71																																																																																										
資本収入	2,287																																																																																										
長期借入金	1,235																																																																																										
運営費負担金	1,046																																																																																										
その他資本収入	6																																																																																										
その他の収入	17																																																																																										

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	計		計		計		計							
	計		90,180		計		20,382		計		20,724			
	支出				支出				支出					
	営業費用		73,113		営業費用		15,539		営業費用		15,942			
	医業費用		71,883		医業費用		15,271		医業費用		15,666			
	給与費		36,395		給与費		7,794		給与費		7,673			
	材料費		22,621		材料費		4,612		材料費		5,160			
	経費		12,370		経費		2,741		経費		2,718			
	研究研修費		496		研究研修費		124		研究研修費		114			
	一般管理費		1,231		一般管理費		267		一般管理費		276			
	給与費		1,014		給与費		226		給与費		243			
	経費		217		経費		41		経費		33			
	営業外費用		1,613		営業外費用		403		営業外費用		329			
	資本支出		14,998		資本支出		6,040		資本支出		5,931			
	建設改良費		4,122		建設改良費		556		建設改良費		453			
	償還金		10,826		償還金		5,447		償還金		5,447			
	その他資本支出		50		その他資本支出		38		その他資本支出		30			
	その他の支出		221		その他の支出		10		その他の支出		22			
	計		89,945		計		21,992		計		22,225			
	(注記 略)				(注記 略)				(注記 略)					
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)				3-2 収支計画 (平成23年度) (単位:百万円)				3-2 収支実績 (平成23年度) (単位:百万円)					
	区分		金額		区分		金額		区分		金額			
	収益の部		81,060		収益の部		17,200		収益の部		18,419			
	営業収益		79,875		営業収益		16,944		営業収益		18,111			
	医業収益		74,673		医業収益		15,802		医業収益		16,907			
	運営費負担金収益		3,755		運営費負担金収益		912		運営費負担金収益		888			
	資産見返負債戻入		50		資産見返負債戻入		19		資産見返負債戻入		19			
	その他営業収益		1,397		その他営業収益		211		その他営業収益		297			
	営業外収益		1,146		営業外収益		256		営業外収益		290			
	運営費負担金収益		1,010		運営費負担金収益		217		運営費負担金収益		217			
	その他営業外収益		136		その他営業外収益		38		その他営業外収益		74			
	臨時利益		39		臨時利益		0		臨時利益		17			
	費用の部		85,183		費用の部		18,301		費用の部		18,776			
	営業費用		80,845		営業費用		17,626		営業費用		17,904			
	医業費用		79,512		医業費用		17,355		医業費用		17,619			
	給与費		36,070		給与費		7,791		給与費		7,732			
	材料費		21,570		材料費		4,392		材料費		4,911			

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
			経費	11,970			経費	2,738			経費	2,600			
			減価償却費	9,428			減価償却費	2,314			減価償却費	2,269			
			研究研修費	475			研究研修費	119			研究研修費	107			
			一般管理費	1,333			一般管理費	271			一般管理費	286			
			給与費	1,009			給与費	226			給与費	247			
			減価償却費	117			減価償却費	6			減価償却費	8			
			経費	207			経費	39			経費	31			
			営業外費用	4,117			営業外費用	665			営業外費用	712			
			臨時損失	170			臨時損失	0			臨時損失	160			
			予備費	50			予備費	10			予備費	0			
			純利益	▲4,123			純利益	▲1,101			純利益	▲357			
			目的積立金取崩額	0			目的積立金取崩額	0			目的積立金取崩額	0			
			総利益	▲4,123			総利益	▲1,101			総利益	▲357			
			(注記 略)				(注記 略)				(注記 略)				
	3-3 資金計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)				3-3 資金計画 (平成23年度) (単位:百万円)				3-3 資金実績 (平成23年度) (単位:百万円)						
	区分		金額		区分		金額		区分		金額				
	資金収入		99,387		資金収入		32,520		資金収入		32,917				
	業務活動による収入		81,079		業務活動による収入		17,097		業務活動による収入		18,245				
	診療業務による収入		74,758		診療業務による収入		15,819		診療業務による収入		16,857				
	運営費負担金による収入		4,765		運営費負担金による収入		1,129		運営費負担金による収入		1,139				
	その他の業務活動による収入		1,556		その他の業務活動による収入		149		その他の業務活動による収入		249				
	投資活動による収入		4,335		投資活動による収入		2,043		投資活動による収入		19				
	運営費負担金による収入		4,335		運営費負担金による収入		2,043		運営費負担金による収入		3				
	その他の投資活動による収入		0		その他の投資活動による収入		0		その他の投資活動による収入		16				
	財務活動による収入		4,766		財務活動による収入		1,241		財務活動による収入		2,278				
	長期借入による収入		4,766		長期借入による収入		1,241		長期借入による収入		1,235				
	その他の財務活動による収入		0		その他の財務活動による収入		0		その他の財務活動による収入		1,043				
	前事業年度からの繰越金		9,207		前事業年度からの繰越金		12,139		前事業年度からの繰越金		12,375				

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	資金支出	99,387					資金支出	32,520	資金支出	32,917			
	業務活動による支出	74,897					業務活動による支出	15,941	業務活動による支出	15,923			
	給与費支出	37,409					給与費支出	8,020	給与費支出	7,771			
	材料費支出	22,621					材料費支出	4,612	材料費支出	5,197			
	その他の業務活動 による支出	14,867					その他の業務活動 による支出	3,309	その他の業務活動 による支出	2,955			
	投資活動による支出	4,122					投資活動による支出	556	投資活動による支出	954			
	有形固定資産の取 得による支出	4,122					有形固定資産の取 得による支出	556	有形固定資産の取 得による支出	926			
	その他の投資活動 による支出	0					その他の投資活動 による支出	0	その他の投資活動 による支出	28			
	財務活動による支出	10,826					財務活動による支出	5,485	財務活動による支出	5,447			
	長期借入金の返済 による支出	0					長期借入金の返済 による支出	0	長期借入金の返済 による支出	81			
	移行前地方債償還 債務の償還による 支出	10,826					移行前地方債償還 債務の償還による 支出	5,485	移行前地方債償還 債務の償還による 支出	5,366			
	その他の財務活動 による支出	0					その他の財務活動 による支出	0	その他の財務活動 による支出	0			
	翌事業年度への繰越金	9,542					翌事業年度への繰越金	10,538	翌事業年度への繰越金	10,593			
	(注記 略)						(注記 略)		(注記 略)				

○「3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画」に関する特記事項

- ・収支計画において、年度計画比較で営業収益は106.9%となった。
- 目標に対する各経営比率は、それぞれ以下のとおりとなった。
 - 「・経常収支比率（経常収益/経常費用）は、98.8%（目標100%）
 - ・人件費比率（給与/医業収益）は、47.2%（目標50%）
 - ・材料比率（材料費/医業収益）は、29.0%（目標30%）」

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	/	/	/	/	限度額 10億円 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	・限度額 10億円	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

一	なし	/	/	/	/	なし	・該当なし	/	/
---	----	---	---	---	---	----	-------	---	---

6 剰余金の使途

一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	・該当なし	/	/
---	---	---	---	---	---	---	-------	---	---

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項
8-1 職員の就労環境の向上

中期 目標	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
59	・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、病院職員の最適な勤務環境創出に努める。	III				・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医療クラークや病棟等看護クラークを始めとする専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。	・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。 ・医療クラーク：38人、病棟等看護クラーク：26人（平成23年度末） （各年3.31時点）	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							H 2 2	H 2 3			
							常勤医師数	138 人	145 人		
							常勤歯科医師数	4 人	3 人		
							常勤看護師数	483 人	501 人		
							常勤准看護師数	0 人	0 人		
							医師クラーク	20 人	38 人		
							看護クラーク	16 人	26 人		
60	・仕事と生活をともに充実したものとするため、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務時間の縮減、年次有給の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底、育児等を支援するための特別休暇の創設等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境への配慮に努める。	III				・仕事と生活をともに充実したものとするため、週間単位の変形労働時間制を採用し、時間外勤務時間の縮減、年次有給休暇の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底、介護や育児等を支援するための特別休暇の創設等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境に配慮する。	・勤務実態に合わせて、4 週単位から 1 月単位の変形労働時間制に変更した。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めた。			III	
61	・病院職員の健康管理のため、定期健康診断の受診に努めるとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	III				・病院職員の健康管理のため、地方独立行政法人化前と同程度以上の検診(定期健康診断及び人間ドック)や任意検査等(各種抗体検査や予防接種等)を実施するとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	・職員の健康管理対策の充実に努めた。 ・健康診断 地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受け、人間ドックを実施した。 有害な業務に従事する職員に対しても、引き続き特殊健康診断を実施した。 ・任意検査等(各種抗体検査、予防接種等) 例年に引き続き、B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施し、その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しB型肝炎ワクチン及び小児ウイルスワクチンの接種を実施した。 また、希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。 ・メンタルヘルス 『岐阜県総合医療センターにおける心の健康づくり計画』に則り、メンタルヘルス対策の推進を図った。 院内に職員が相談しやすい相談窓口(さわやか健康相談)を設置するとともに専任の臨床心理士を雇用し、内部の相談窓口の充実に努めた。 外部の相談窓口としては、「心の健康相談」事業を引き続き笠松クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。			III	
62	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設を充実し	III				・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設の整備や、	・職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づく			III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
	たり、24時間保育の実施に向け、夜間保育を整備するなど病院の施設・設備を整備することで、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに努める。					24時間保育の実施に向け、夜間保育ができる環境を整備するなど病院の施設・設備の整備について検討し、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに取り組む。	りのため、平成24年2月から24時間保育を実施した。																				
63	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催に努める。	III				・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加を支援し、病院内における研修会、講演会等の開催回数を増やす。	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、独法化後、法人全体として「職員教育研修体系」を策定し、これに基づき全職種を対象とした「平成24年度新規採用者職員研修」を計画した。 ・病院機能評価における重要と定義される分野についての研修会を法人全体で下記のとおり実施した。	III																			
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>部門/回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全について</td> <td>全体/15回、看護部/7回 中央リハビリテーション部/2回</td> </tr> <tr> <td>感染防止について</td> <td>全体/5回、看護部/21回 中央リハビリテーション部/1回</td> </tr> <tr> <td>接遇研修について</td> <td>全体/2回、看護部/1回 事務局/1回</td> </tr> <tr> <td>個人情報について</td> <td>全体/1回</td> </tr> <tr> <td>倫理研修について</td> <td>全体/1回、看護部/2回</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティについて</td> <td>看護部1回</td> </tr> <tr> <td>母乳育児支援について</td> <td>全体1回、看護部2回</td> </tr> <tr> <td>児童虐待予防について</td> <td>全体1回</td> </tr> </tbody> </table>	内容	部門/回数	医療安全について	全体/15回、看護部/7回 中央リハビリテーション部/2回	感染防止について	全体/5回、看護部/21回 中央リハビリテーション部/1回	接遇研修について	全体/2回、看護部/1回 事務局/1回	個人情報について	全体/1回	倫理研修について	全体/1回、看護部/2回	情報セキュリティについて	看護部1回	母乳育児支援について	全体1回、看護部2回	児童虐待予防について	全体1回		
内容	部門/回数																										
医療安全について	全体/15回、看護部/7回 中央リハビリテーション部/2回																										
感染防止について	全体/5回、看護部/21回 中央リハビリテーション部/1回																										
接遇研修について	全体/2回、看護部/1回 事務局/1回																										
個人情報について	全体/1回																										
倫理研修について	全体/1回、看護部/2回																										
情報セキュリティについて	看護部1回																										
母乳育児支援について	全体1回、看護部2回																										
児童虐待予防について	全体1回																										

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期 目標	人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
64	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III				<p>医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。</p>	<p>・県及び県が設置した他の地方独立行政法人との連携を推進するため、平成23年8月に人事交流採用調整会議を開催した。</p> <p>職員の他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>2(3)人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>看護師のうち()は、助産師教</p>		H22	H23	医師	—	—	歯科医師	—	—	看護師	1人	1人	准看護師	0人	0人	コメディカル	10人	4人	合計				H22	H23	医師	—	—	歯科医師	—	—	看護師	1人	2(3)人	准看護師	0人	0人	コメディカル	1人	1人	合計			III	
	H22	H23																																																	
医師	—	—																																																	
歯科医師	—	—																																																	
看護師	1人	1人																																																	
准看護師	0人	0人																																																	
コメディカル	10人	4人																																																	
合計																																																			
	H22	H23																																																	
医師	—	—																																																	
歯科医師	—	—																																																	
看護師	1人	2(3)人																																																	
准看護師	0人	0人																																																	
コメディカル	1人	1人																																																	
合計																																																			

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																		
65	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位:百万円)</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>4, 1 2 2</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器 (高速X線CT装置 (MDCT)、MRI等) の整備、超音波室の増設等、着実に実施する。</p>	施設及び設備の内容	予定額 (単位:百万円)	財 源	病院施設、医療機器等整備	4, 1 2 2	設立団体からの長期借入金等	III				<p>(1) 平成23年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位:百万円)</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>5 5 6</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器 (高速X線CT装置 (MDCT)、MRI等) の整備、超音波室の増設等、着実に実施する。</p>	施設及び設備の内容	予定額 (単位:百万円)	財 源	病院施設、医療機器等整備	5 5 6	設立団体からの長期借入金等	<p>(1) 平成23年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>投資額 (単位:百万円)</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>4 5 3</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療機器については、計画どおりの整備を行っているが、器具備品類については、適切な整備を行った。</p> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器 (内視鏡手術支援ロボット (ダヴィンチ))、カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる施設 (ハイブリッド心臓カテーテル室) の整備を委員会において導入の可否を含めた検討をしている。</p>	施設及び設備の内容	投資額 (単位:百万円)	財 源	病院施設、医療機器等整備	4 5 3	設立団体からの長期借入金等	III		
施設及び設備の内容	予定額 (単位:百万円)	財 源																										
病院施設、医療機器等整備	4, 1 2 2	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	予定額 (単位:百万円)	財 源																										
病院施設、医療機器等整備	5 5 6	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	投資額 (単位:百万円)	財 源																										
病院施設、医療機器等整備	4 5 3	設立団体からの長期借入金等																										

8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標	法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																						
66	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行っていく。</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>10,826</td> <td>9,088</td> <td>19,914</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>0</td> <td>4,766</td> <td>4,766</td> </tr> </tbody> </table>	区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914	長期借入金償還額	0	4,766	4,766	III				<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行っていく。</p>	<p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>債務の償還状況（合計）</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td></td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>6,785</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td></td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>6,785</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年		805	25年		2,577	26年		659	中期計画期間計	6,785	10,826	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年		805	25年		2,577	26年		659	中期計画期間計	6,785	10,826	IV		
区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																																													
移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914																																																													
長期借入金償還額	0	4,766	4,766																																																													
年度	実績	計画																																																														
22年	1,419	1,419																																																														
23年	5,366	5,366																																																														
24年		805																																																														
25年		2,577																																																														
26年		659																																																														
中期計画期間計	6,785	10,826																																																														
年度	実績	計画																																																														
22年	1,419	1,419																																																														
23年	5,366	5,366																																																														
24年		805																																																														
25年		2,577																																																														
26年		659																																																														
中期計画期間計	6,785	10,826																																																														

○「8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項」(その他業務運営に関する重要事項)に関する特記事項

8-1 職員の就労環境の向上

- ・勤務実態に合わせ、4週単位から1月単位の変形労働時間制に変更した。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めた。
- ・職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりのため、平成24年2月から24時間保育を実施した。

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

- ・県及び県が設置した他の地方独立行政法人との連携を推進するため、平成23年8月に人事交流採用調整会議を開催した。

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

- ・平成22年度に引き続き外来駐車場の整備を進め、平成23年4月末に完成し、施設面においても患者サービスの向上が実現できた。
- ・医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展等を総合的に判断し、内視鏡手術支援ロボットやハイブリッド手術室の整備・導入の可否を検討している。